

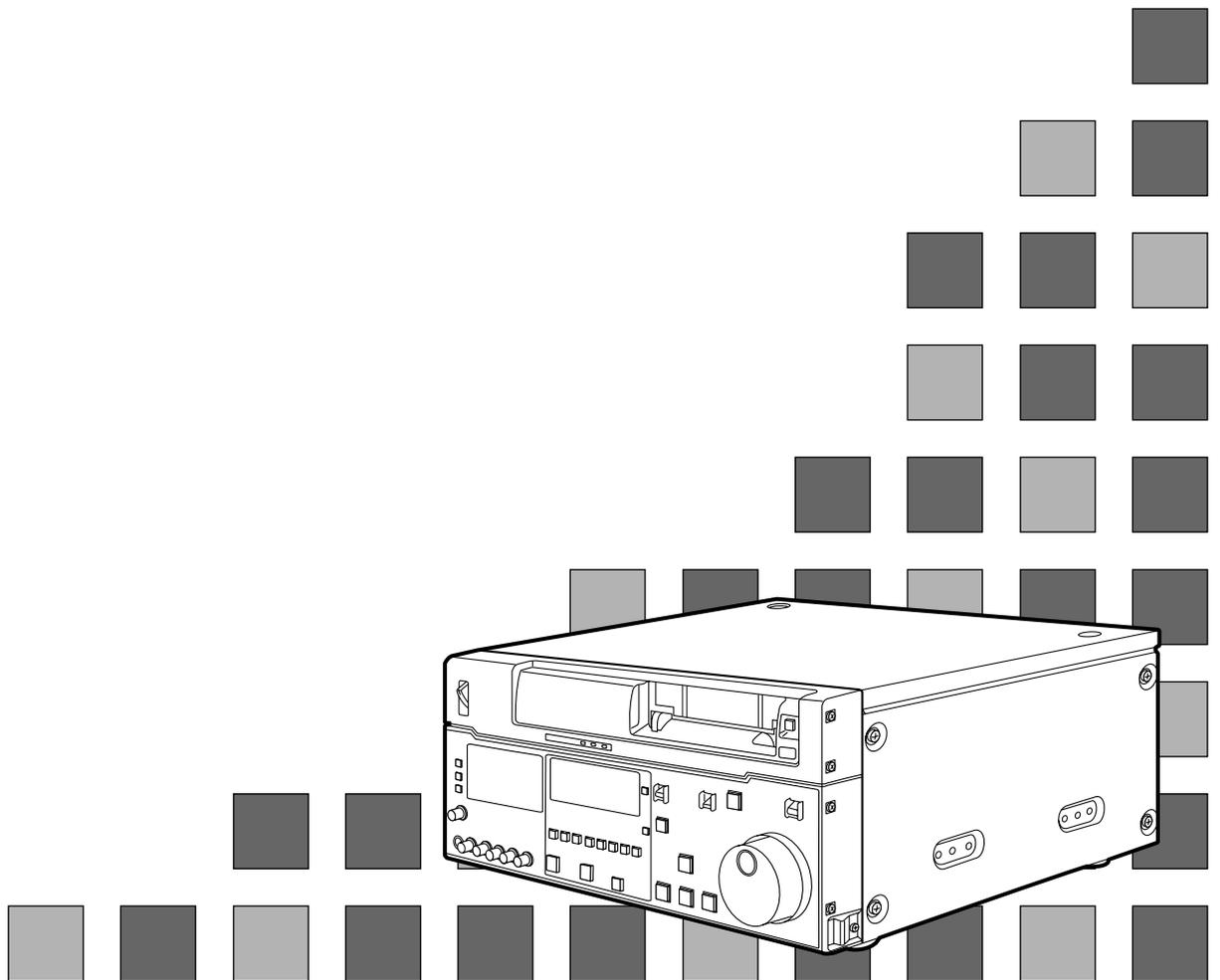
# Panasonic

**DVCPRO 50**

Digital Video Cassette Player

**AJ-D940**

## 取扱説明書



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

上手に使って上手に節電  
ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

# 目次

---

安全上のご注意	4-7
概要・特長	8-9
各部の名称と機能	
• フロントパネル	10-17
• フロントパネル上部	11
• フロントパネル中央	12-15
• フロントパネル下部	16-17
• コネクタ部	18-20
接続	
• 1台での接続	21
• 本機を編集時のソース側としての使用する場合の接続例	22
• 編集コントローラとの接続例	23
• ビデオ出力信号(エンコーダー出力)の調整のための接続	24
テープ	25
電源投入/カセット挿入	26
STOP/STANDBYモード	27
再生	28
ジョグ/シャトル	29
MULTI CUE機能	30
ビデオ出力信号(エンコーダー出力)の調整	33
セットアップ(初期設定)	34
セットアップメニュー	35
• SYSTEM	39
• BASIC	41
• OPERATION	44
• INTERFACE	46
• EDIT	47
• TAPE PROTECT	49
• TIME CODE	50
• VIDEO	51
• AUDIO	52
• V BLANK	54
• MENU	55

## 保証書別添付

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

著作権(録画テープの取扱い)

あなたがビデオで録画したテープは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

# 目次

---

タイムコード/ユーザービットについて	56
タイムコード/ユーザービットの再生	57
スーパーインポーズ画面	58
サーボリファレンス	59
音声Vフェード機能	60
音声モニター出力の選択	61
ラックマウント	62
ビデオヘッドクリーニング	63
結露	63
エラーメッセージ	64-65
エラーメッセージ(AUTO OFF ランプ点灯)	66-67
RS-232Cインターフェース	68-74
コネクタの信号	75-76
定格	77-78

---

本機をご使用になる前に、付属品が入っていることをお確かめください。

電源コード 1pc.

## オプション

- カセットアダプタ AJ-CS750P
- ラックマウントアダプタ AJ-MA75P

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

不安定な場所に置かない！



禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

電源コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。  
コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。  
コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 警告

<p>水場に設置しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない！</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない！</p> <p> たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>付属品・オプションは、指定の製品を使用する！</p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。</p>	<p>本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！</p> <p> 本機内部にはいると、故障や事故を起こすおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>本機を改造しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p>	<p>機器が濡れたり、水が入らないようにする！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。</p> <p>禁止</p>	<p>電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない！ 傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！</p>
<p>水場で使用しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>表示された電源電圧以外は、使用しない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。</li></ul>

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 警告

指定のカバー以外は、  
外さない！



分解禁止

感電の原因となります。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

電源プラグは、根元ま  
で確実に差し込む！



感電の原因になります。

本機の裏ぶた・キャビ  
ネット・カバーなどを  
外さない！



分解禁止

感電の原因となります。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

本機を落としたり、破  
損した場合は、電源ス  
イッチを切り、電源プ  
ラグを抜く！



電源プラグ  
を抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

本機の内部に水などが  
入った場合は、電源ス  
イッチを切り、電源プ  
ラグを抜く！



電源プラグ  
を抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

本機の内部に異物が入  
った場合は、電源ス  
イッチを切り、電源プ  
ラグを抜く！



電源プラグ  
を抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

煙が出ている、変な  
においや音がするなどの  
異常状態の場合は、電  
源スイッチを切り、電  
源プラグを抜く！



電源プラグ  
を抜く

火災・感電の原因となります。

お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。

電源コードが傷んだ場  
合は、交換を依頼す  
る！



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

- お買い上げの販売店に、ご相談ください。

電源プラグのほこりなど  
は、定期的にとる！



プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## ⚠ 注意

<p>電源コードを熱器具に近づけない！</p> <p> コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>油煙や湯気が当たる場所に置かない！</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>湿気やほこりの多い場所に置かない！</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>持ち上げや移動には、十分注意する！</p> <p> 落としたりすると、けがの原因となります。</p> <p>●10kg以上の機器は、2人以上で持ち上げるなど、慎重に取り扱ってください。</p>	<p>プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p> <p>●必ずプラグを持って抜いてください。</p>	<p>本機の通風孔をふさがない！</p> <p> 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p> <p>次のような使い方は、しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●本機を風通しの悪い所に押し込む。</li><li>●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。</li></ul>
<p>カセットテープ挿入口に、手をはさまれないように注意する！</p> <p> けがの原因となります。</p> <p>指に注意</p>	<p>本機の上に重い物を置かない！</p> <p> バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	
<p>本機に乗らない！</p> <p> 倒れたり、壊れたりし、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！</p> <p> 火災の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>
<p>お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！</p> <p> 本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。</p>	

# 概要

---

本機は、1/4インチ幅の小型カセットテープを使用し、映像記録レート50Mbpsの高画質スローモーション再生専用機で、既存のDVCPRO(25Mbps)の再生が可能なマルチパスのスタジオデジタルVTRです。またワールドワイド対応のスタジオVTRとして、525i/625iスイッチャブル機能になっています。

デジタル圧縮技術を採用した高画質VTRで、ダビング時の画質・音声の劣化が大幅に少なくなっています。

また、本機は4Uサイズの小型・軽量設計になっていますので持ち運びにも負担が軽く、19インチのラックに設置する時にも楽に行えます。

機器のセットアップのための各設定はモニターテレビの画面メニューを見ながら対話方式で行えます。

## 特長

### 小型・軽量

本機は4UサイズのデジタルVTRです。ラックマウントアダプタ(オプション、AJ-MA75P)を使用すれば19インチラックにも手軽に取りつけることができます。

### 最大92分再生

使用するカセットテープは、Mカセット(最大33分用)とLカセット(最大92分用)です。テープ幅は1/4インチのコンパクト設計になっています。

### 高画質

既存DVCPROの2倍の記録レートを持った4:2:2コンポーネント信号により高画質を実現しています。

### 525i/625iスイッチャブル

記録されたテープの信号(525i/625i)に合わせたスイッチ切換えを行うことにより、それぞれの信号を再生することができます。

### DVCPROとの互換再生

既存のDVCPROで記録されたテープを本機で再生することができます。

### 民生機器との互換

民生機器のデジタルカメラで撮影した民生用カセットテープはカセットアダプタ(オプション、AJ-CS750P)を使用すると、本機で再生できます。

<ノート>

- 民生のLPモードで記録されたテープの再生はできません。

### デジタルスローモーション/ダイヤルジョグ

パナソニック独自のデジタルスロー技術により、以下の速度のスロー再生画像は、クリアな再生が行えます。

DVCPRO50(50Mbps) : -1 ~ +1速度

DVCPRO(25Mbps) : -2 ~ +2速度

DV : ±0.03、±0.07、±0.1、±0.2、±0.4 ~ ±1倍速

### ダイヤルシャトル

シャトル操作は、正・逆方向に最大32倍速までカラー画像で再生が可能です。

### タイムコード

本機はTCR(タイムコードリーダー)を内蔵しています。

---

---

## 特長（つづき）

### 多機能なインターフェース

- シリアルデジタル出力  
コンポーネントシリアルインターフェースを装備しており、シリアルデジタルで、コンポーネント信号でのインターフェースが行えます。(SMPTE 259M-C、272M)
- アナログビデオ出力  
コンポーネント(Y、P<sub>B</sub>、P<sub>R</sub>)とコンポジットの出力端子を装備しています。
- AES/EBUオーディオ出力  
デジタルオーディオ出力端子を装備しています。
- SDTI出力(オプション)
- 9ピンRS-422A/RS-232Cリモート  
標準的な9ピンシリアルリモート(RS-422A)の他、RS-232Cおよび25ピンパラレルのリモート端子を装備しています。

### 4チャンネルの高音質デジタルオーディオ

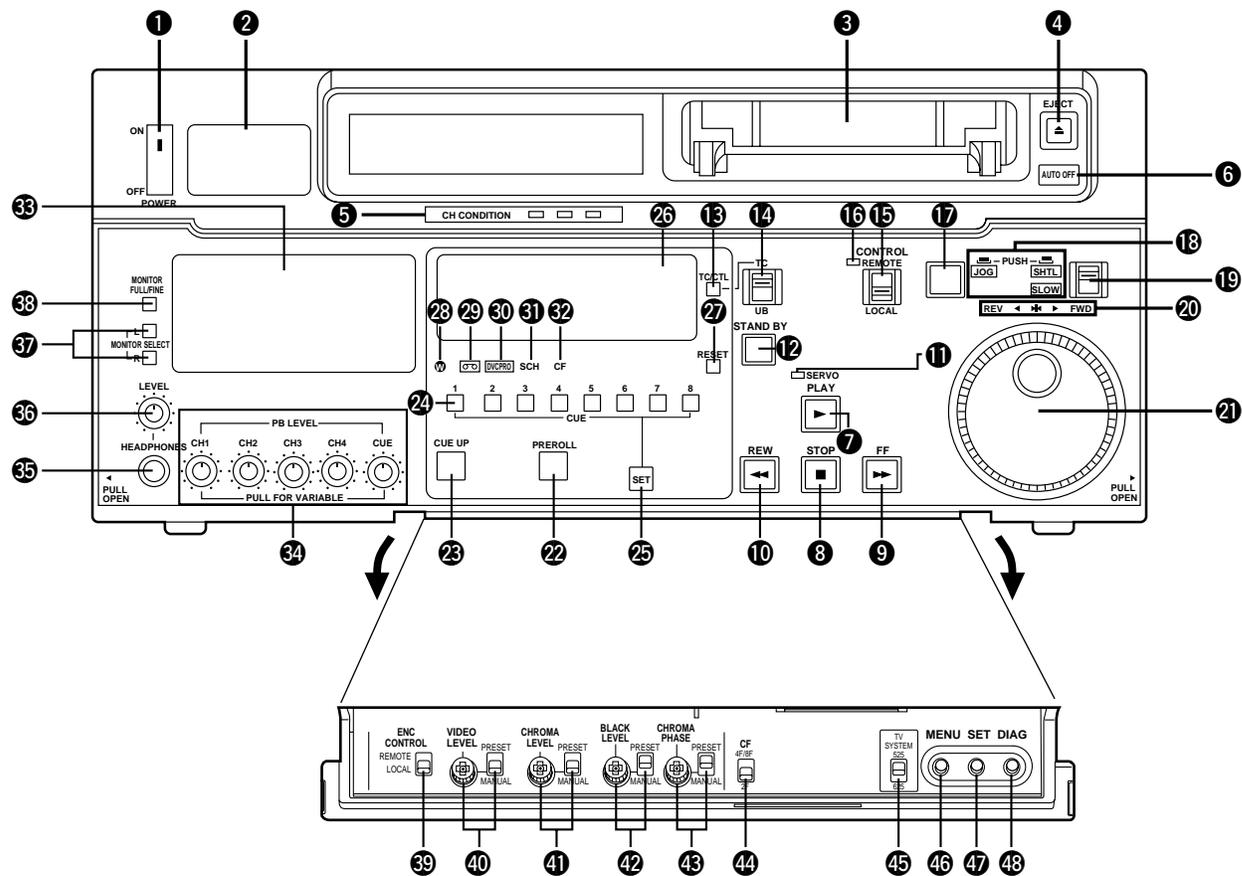
4チャンネルのPCMオーディオおよびアナログキュートラックも1チャンネル装備しています。

### メニュー方式のセットアップ

本機を操作する前に行うセットアップの各設定は、本機のディスプレイまたはモニターテレビのセットアップメニューを見ながら行います。

# 各部の名称と機能

## フロントパネル



---

## フロントパネル上部

- ① POWER スイッチ
- ② TVシステム/フォーマット表示部  
選択されたTVシステムとフォーマットが表示されます。  
< 525/625 >  
525 : 525のTVシステムが選択されると点灯します。  
625 : 625のTVシステムが選択されると点灯します。  
< 25Mbps/50Mbps >  
25Mbps : DVCPRQ( 25Mbps )およびDVの再生モードを示します。  
DVCPRQ( 25Mbps )の再生モードの場合は、フロントパネル中央のDVCPRO  
( 25Mbps )カセット再生表示ランプ⑩も合わせて点灯します。  
50Mbps : DVCPRO50( 50Mbps )の再生モードを示します。
- ③ カセット挿入口
- ④ EJECT ボタン  
押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットを排出します。  
カウンタ表示部がCTL表示の時は、表示がリセットされます。
- ⑤ チャンネルコンディション・ランプ  
エラーレートの状態に応じて点灯します。(緑 アンバー 赤)  
緑 : ビデオ/オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好な時に点灯します。  
アンバー : ビデオ/オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化した時に点灯します。  
このランプが点灯しても、再生画は正常です。  
赤 : ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった時に点灯します。
- ⑥ AUTO OFFランプ  
本機の動作に異常が発生した時に点灯します。

# 各部の名称と機能

---

## フロントパネル中央

- ⑦ PLAYボタン  
押すと再生が始まります。
- ⑧ STOPボタン  
押すとテープ走行が停止します。  
ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。  
ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイOFFモードになります。  
本機にカセットを入れた直後は、ストップモードになります。
- ⑨ FFボタン\*<sup>1</sup>  
押すと、テープを早送りします。
- ⑩ REWボタン\*<sup>1</sup>  
押すと、テープを巻き戻します。
- ⑪ SERVOランプ  
ドラムサーボおよびキャプスタンサーボがロックすると点灯します。
- ⑫ STAND BYボタン  
通常のSTOP時と同じテープテンションがかかり、ヘッドドラムが回転中はボタンが点灯してスタンバイONモードであることを示します。  
スタンバイOFFモードの時は、ハーフロード・モードになります。ストップ・モード中にこのボタンを押すとスタンバイOFFモードになり、ハーフロードモードになります。この時、ボタンは消灯します。  
また、ストップ・モードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイOFFモードになります。  
スタンバイOFFモードの時にこのボタンを押すか、またはSTOPボタンを押すと、スタンバイONモードになります。  
また、STOPボタン以外のボタンを押すと、押したボタンのモードになります。  
スタンバイOFFモードへの移行時間はオンスクリーン上で設定できます。
- ⑬ TC/CTLスイッチ  
このスイッチを押すことにより、カウンタ表示部の表示がTC CTL TC・・・と変化します。また、TC選択時には、TC/UBスイッチの選択に応じて、TCもしくはUBの値を表示します。
- ⑭ TC/UBスイッチ  
TC/CTLスイッチがTCの時に、カウンタ表示部にTCの値を表示するか、UBの値を表示するかを選択スイッチです。  
  
\*<sup>1</sup> 早送り、巻き戻しの速度は、セットアップメニューNo.102(FF.REW MAX)で選択ができます。

---

## フロントパネル中央

- ⑮ REMOTE/LOCALスイッチ  
REMOTE、RS-232C、パラレルの各端子を使って、外部から本機をコントロールする時に切換えます。  
REMOTE：9ピンのREMOTEもしくはRS-232C、パラレルリモート端子を使って接続した機器で本機をコントロールする時、この位置にします。  
LOCAL：本機の操作パネルで本機をコントロールする時にこの位置にします。
- ⑯ REMOTEランプ  
REMOTE/LOCALスイッチで、REMOTE側を選択した時に点灯します。
- ⑰ サーチボタン  
押すとサーチモードになります。  
サーチダイヤルをシャトルモードにして任意の位置に回しておき、このボタンを押すと、サーチダイヤルで設定した速度の再生が始まります。
- ⑱ JOG/SHTL/SLOWランプ  
サーチダイヤルとSHTL/SLOWスイッチの現在の状態を表示します。  
JOG(ジョグ)：JOGモード時に点灯します。  
SHTL(シャトル)：SHTLモード時に点灯します。  
SLOW(スロー)：VARモード時に点灯します。
- ⑲ SHTL/SLOW スイッチ  
サーチダイヤルをSHTL用、もしくはVAR用として用いる時の選択スイッチです。
- ⑳ REV/STILL/FWDランプ  
サーチダイヤルの動作に応じて点灯します。  
REV：ダイヤルを左に回すと点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープがREV方向に走行します。  
STILL：JOGモード時には、ダイヤルの回転が停止した時に点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープ走行も停止します。  
SHTLモード時には、ダイヤルがスチル位置にある時に点灯します。  
FWD：ダイヤルを右に回すと点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープがFWD方向に走行します。
- ㉑ サーチダイヤル  
編集点を探すためのダイヤルです。  
ダイヤルは一度押すごとにシャトルモードとジョグモードが交互に切替わり、JOG/SHTL/SLOWランプのいずれかが点灯します。  
POWER ON時は、一度ダイヤルがSTILL位置に戻らないと動作しません。  
SHTLモード：SHTL/SLOWスイッチがSHTLの時、ダイヤルを回し、任意の位置で止め(シャトル)ると、その回転角度位置に対応した速度で再生できます。中央位置で静止画になります。  
SHTL/SLOW スイッチがSLOWの時には、ダイヤルを左一杯に回すと - 4.1倍速、中央位置で静止画、右一杯にまわすと+4.1倍速になります。SLOWの最大速度はセットアップメニューNo.320(VAR FWD MAX)、No.321(VAR REV MAX)で選択できます。  
JOGモード：ダイヤルにクリックがなくなり、ダイヤルの回転速度に応じた速度\*1で再生(ジョグ)します。  
\*1 DVCPR050(50Mbps)：-1~+1倍速  
DVCPR0(25Mbps)：-2~+2倍速  
DV：-1~+1倍速

# 各部の名称と機能

---

## フロントパネル中央

- ② PREROLL ボタン  
送出等の頭出しに使用します。  
CUE点を選択( CUEランプが点滅 )されているときに押すと、そのCUE点に対してテープがプリロールされて、静止画になります。  
CUE点を選択されていないときに押すと、押した点からテープがプリロールされて、静止画になります。
  - プリロール時間は、セットアップメニューNo.000( P-ROLL TIME )で設定できます。
  
- ③ CUE UPボタン  
送出等の頭出しに使用します。  
CUE点を選択( CUEランプが点滅 )されているときに押すと、そのCUE点に対してテープがプリロールされて、静止画になります。  
CUE点を選択されていないときに押すと、押した点からテープがプリロールされて、静止画になります。
  - プリロール時間は、セットアップメニューNo.016( CU-ROLL TIME )で設定できます。
  
- ④ CUE 1～8ボタン  
CUE点の登録、確認および削除に使用します。  
頭出ししたいところで押すと、押したCUEボタンにCUE点が登録されます。  
登録されたCUE点を確認するときは、登録されたCUEボタンを押します。  
登録されたCUE点を削除するときは、CUEボタンを押しながらRESETボタンを押します。
  
- ⑤ SETボタン  
CUE点の登録および削除に使用します。  
頭出ししたいところで押すと、CUE点が登録され、CUEボタンが点灯します。順次頭出ししたいところで押すと、登録されていないCUEボタンが若い順に点灯し、CUEが登録されます。  
SETボタンを押しながらRESETボタンを押すと、登録されたCUE点が全て削除されます。
  
- ⑥ カウンタ表示部  
TC、CTLのカウント値や、オンスクリーン情報等の各種メッセージを表示します。
  
- ⑦ RESETボタン  
CTLモード時は、ボタンを押すと表示が[ 00:00:00:00 ]になります。
  
- ⑧ ワーニングランプ  
ワーニング項目がある時に点灯します。
  
- ⑨ カセット挿入表示ランプ  
本機にカセットが挿入されている時に、このランプが点灯します。
  
- ⑩ DVCPRQ( 25Mbps )カセット再生表示ランプ  
DVCPRQ( 25Mbps )で記録されたカセットが再生されている時に点灯します。
  
- ⑪ SCH ランプ  
外部同期信号のSCH位相が、一定の範囲内にある時に点灯します。

---

## フロントパネル中央

- ③② CFランプ  
カラーフレーミングがロックしている時に点灯します。
  
- ③③ レベルメーター  
PCMオーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4と、CUEトラック信号の再生時の各レベルを表示します。
  
- ③④ オーディオ出力レベルの調整ボリューム  
PCMオーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4と、CUEトラック信号の再生レベルを調整するボリュームです。  
各ボリュームは「PULL FOR VARIABLE」形式で、ボリュームを引き上げた時に初めて調整が可能です。ボリュームを押し下げた時には、各信号レベルがユニティ値(初期値)になります。
  
- ③⑤ ヘッドホンジャック  
ステレオヘッドホンを接続すると、再生中の音声を、ヘッドホンでモニターできます。
  
- ③⑥ 音量調整ボリューム  
ヘッドホンの音量およびモニター出力の音量を調整するボリュームです。  
ヘッドホン出力とモニター出力の音量を連動させるか、分離させるかは、セットアップメニューNo.713(MONI OUT)で選択できます。(ただしヘッドホンは常に連動しています。)分離させた時には、モニター出力はユニティ値(初期値)になります。
  
- ③⑦ MONITOR SELECTスイッチ  
モニターL/Rに出力する音声信号を切換えるためのスイッチです。  
「L」ボタンを押すたびに、モニターLに出力する信号をCH1、CH2、CH3、CH4、CUE、CH1、・・・と切換えます。  
(セットアップメニューNo.729(MONI MIX L)でCH1+2またはCH3+4を選択した場合は、切換えはできなくなります。)  
また、「R」ボタンを押すたびに、モニターRに出力する信号をCH1、CH2、CH3、CH4、CUE、CH1、・・・と切換えます。  
(セットアップメニューNo.730(MONI MIX R)でCH1+2またはCH3+4を選択した場合は、切換えはできなくなります。)  
今、どの信号を選択しているかの表示は、レベルメーター表示部のL/Rのランプの点灯で示しています。(セットアップメニューNo.721(MONI CH SEL)がAUTOの時は、モニター出力に合わせて表示が切換わります。)
  
- ③⑧ METER(FULL/FINE)切換スイッチ  
オーディオレベルメーターのスケール表示(目盛)を切換えるボタンです。  
FULLモード : 標準目盛りになります。( - ~ 0 dBの範囲)  
FINEモード : 0.5 dBごとのスケールになります。



---

## フロントパネル下部

### ④5 TV SYSTEM選択スイッチ

このスイッチによりテレビジョンシステムの選択ができます。

このスイッチの設定は再度電源を投入した時に有効になります。

525 : 525インターレース/59.94Hzのテレビジョン方式の選択になります。

625 : 625インターレース/50Hzのテレビジョン方式の選択になります。

再生時は、525i/625i選択に合致したテープを再生してください。

### ④6 MENUボタン

このスイッチを押すと、モニターテレビにはセットアップメニューを(ただし、VIDEO OUT 3端子を使用している時) 本機の表示部にはセットアップメニュー番号を表示します。再度押すと、セットアップメニュー設定から抜けだし、もとに戻ります。

### ④7 SETボタン

このスイッチを押すと、セットアップメニューで設定したデータを確定します。

データ確定後は、セットアップメニュー設定から抜けだし、もとに戻ります。

### ④8 DIAGボタン

このボタンを押すとVTRの情報を表示します。

再度ボタンを押すと元の表示に戻ります。

VTRの情報には「HOURS METER」情報と「WARNING」情報があります。

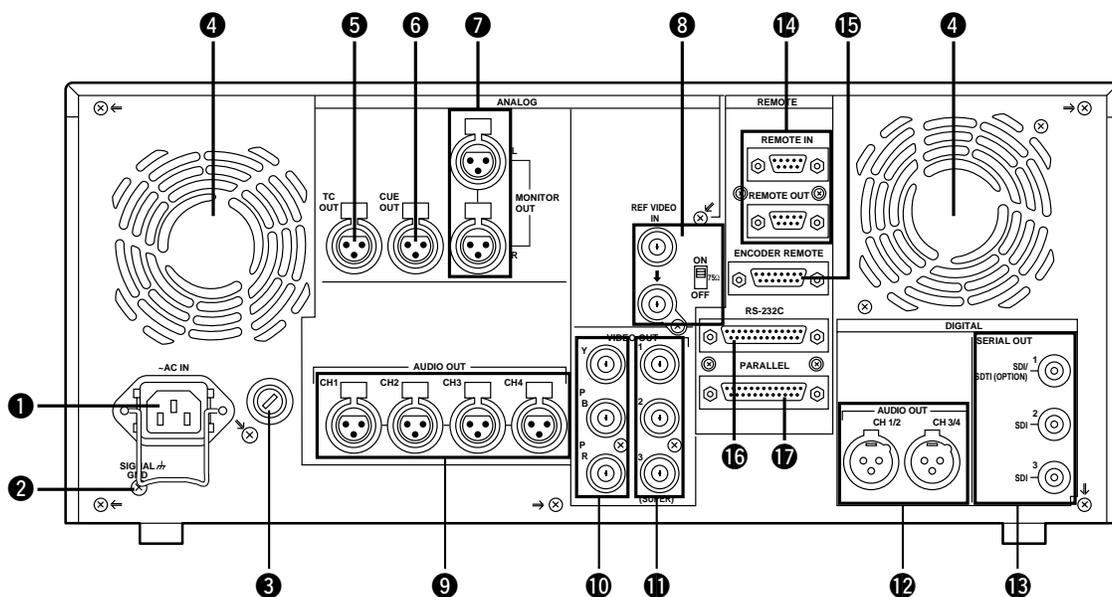
これらの情報の表示切換えは、サーチボタンを押すことによって行います。

「HOURS METER」画面ではデッキのシリアルNo.、通電時間、ドラムの回転時間、テープ走行時間、ローディング回数・電源の入切回数等を表示します。

「WARNING」画面ではワーニングの内容を表示します。

# 各部の名称と機能

## コネクタ部



---

## コネクタ部

- ① AC IN コネクタ  
付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。
- ② SIGNAL GND 端子  
ノイズ軽減のため、接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。
- ③ ヒューズホルダ  
5Aのヒューズが入っています。
- ④ ファンモータ  
本機の冷却用のファンモータです。  
ファンモータがなんらかの異常で停止した時には、**W**ランプが点灯します。  
ワーニングの状態で継続して動作させると、デッキ内部の温度が上昇し、安全温度を越した時にはすべての動作を停止させます。
- ⑤ TIME CODE OUT端子  
再生タイムコードを出力します。
- ⑥ CUE OUT端子  
CUEトラックに記録されたアナログ信号を出力します。
- ⑦ MONITOR OUT端子  
PCMオーディオ信号CH1/CH2/CH3/CH4、もしくはCUEトラックからの再生信号を出力します。
- ⑧ REF VIDEO IN端子と75 終端スイッチ  
リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。  
放送規格\*に準拠したブラックバーストなどのコンポジットビデオ信号を入力してください。  
終端する場合には、スイッチを「ON」にします。  
\* 525 : RS-170A  
625 : CCIR624
- ⑨ ANALOG AUDIO OUT端子  
アナログ・オーディオ信号を出力します。
- ⑩ ANALOG COMPONENT VIDEO OUT端子  
アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を出力します。
- ⑪ ANALOG COMPOSITE VIDEO OUT端子  
アナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。  
VIDEO OUT 3の端子はスーパーを重畳したビデオ信号の出力ができます。  
スーパーのON/OFFはセットアップメニューNo. 007( SUPER )で選択します。
- ⑫ DIGITAL AUDIO OUT端子  
AES/EBU規格に準拠した、デジタル・オーディオ信号の出力端子です。
- ⑬ SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO OUT端子  
SMPTE259M-C、272M規格に準拠した、デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の出力端子です。

# 各部の名称と機能

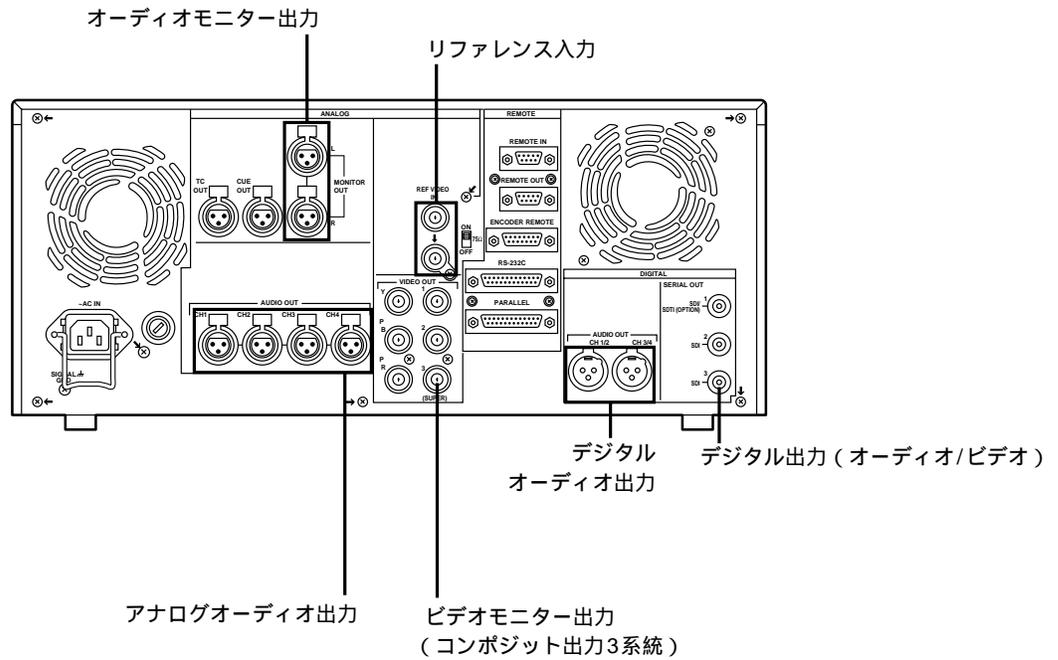
---

## コネクタ部

- ⑭ リモートコントロール端子  
デッキ対デッキ編集時の再生(PLAYER)機、あるいは本機と外部コントローラとを接続して、外部から本機を操作することができます。  
リモートコントロール端子は、IN用とOUT用との2つがあります。  
IN : 外部コントローラと接続  
      デッキ対デッキ操作時に接続  
OUT : パララン操作時に接続  
      ループスルーとして使用
  
- ⑮ ENCODER REMOTE端子  
ビデオ出力信号の各設定を外部から調整する時に、外部のエンコーダーリモートコントローラを接続します。
  
- ⑯ RS-232C端子
  
- ⑰ PARALLEL REMOTE端子  
本機を外部から操作する時に使用します。

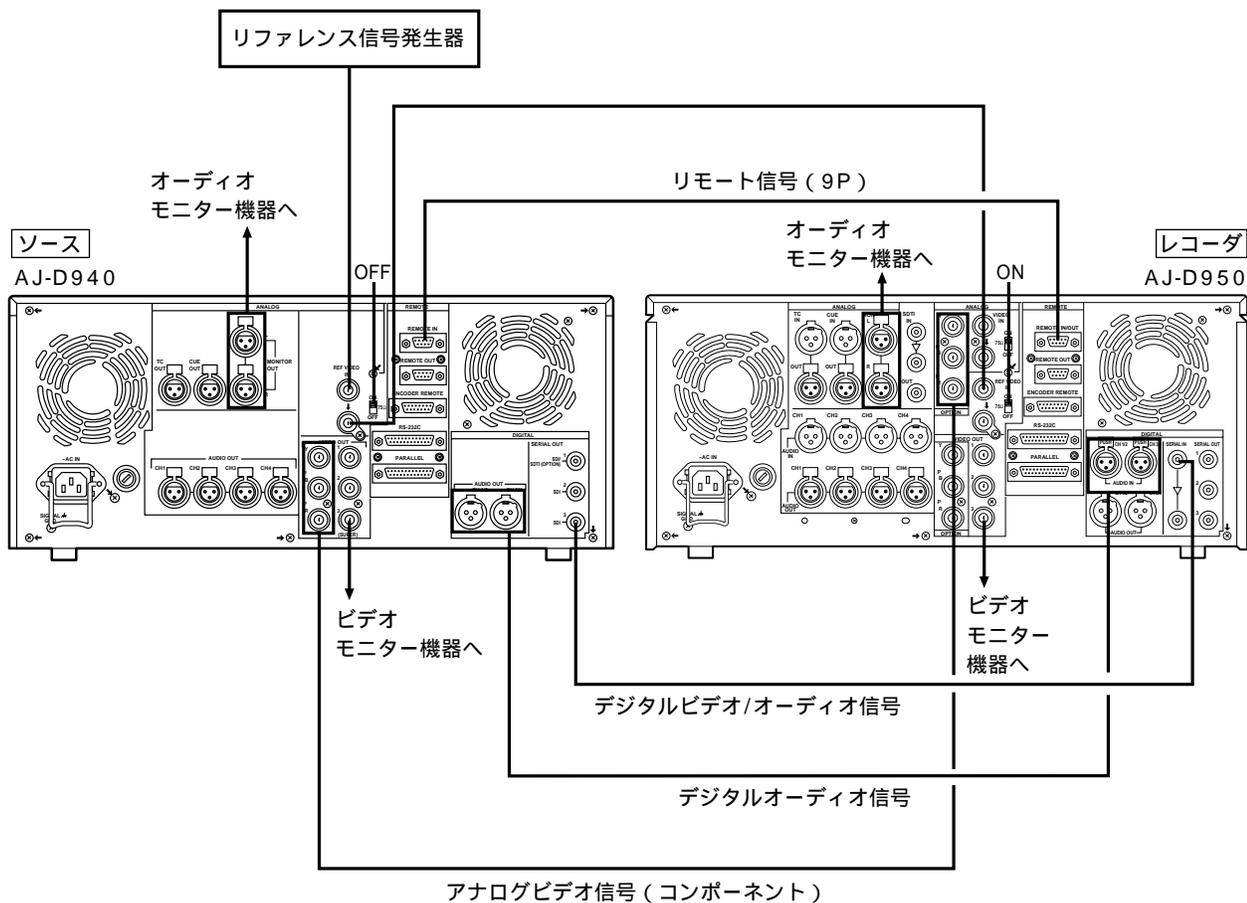
# 1 台での接続

フロントパネルのCONTROLスイッチを「LOCAL」にします。



# 本機を編集時のソース側として使用する場合の接続例(デッキ対デッキ)

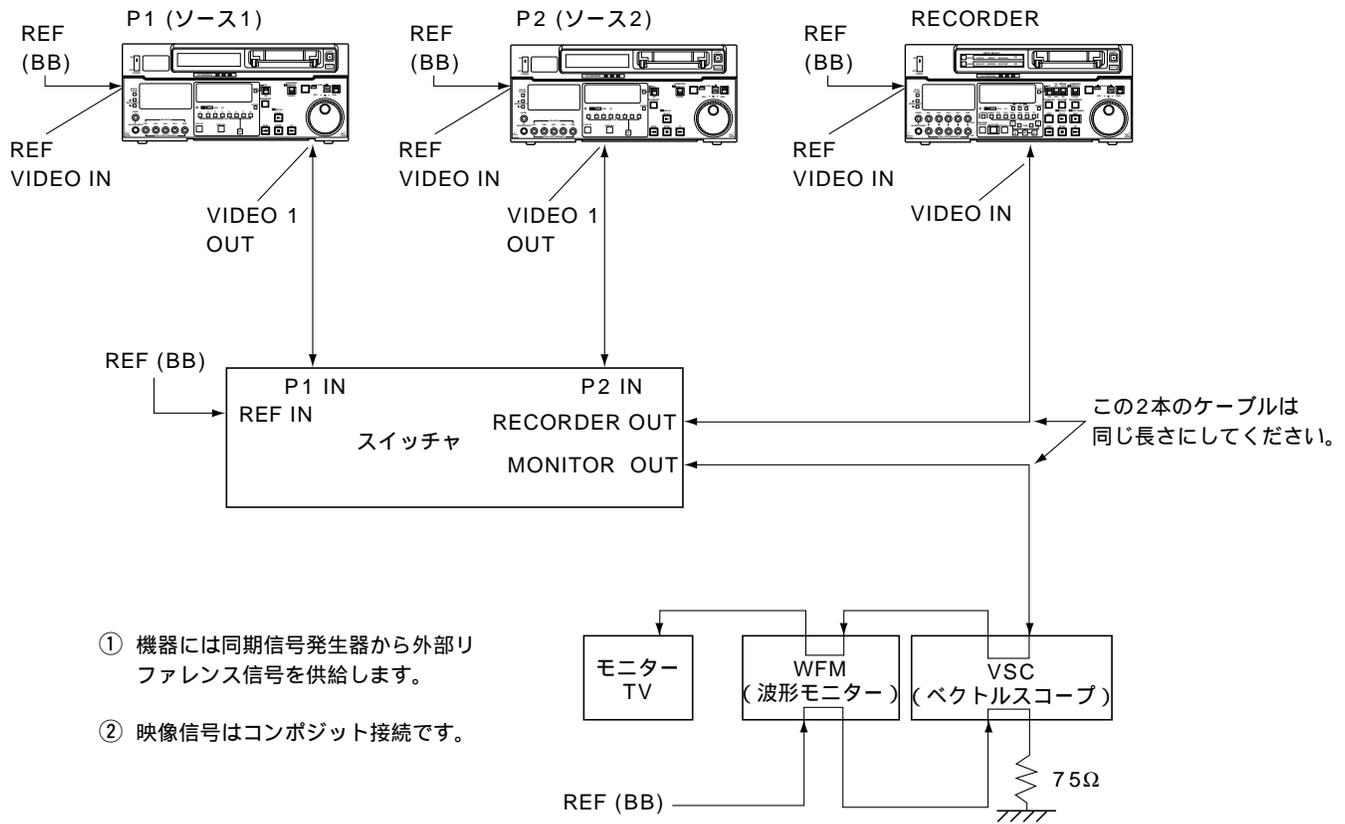
- ソース側      • フロントパネルのCONTROLスイッチを「REMOTE」にします。  
レコーダ側   • フロントパネルのCONTROLスイッチを「LOCAL」にします。



AJ-D950は  
[アナログ入出力信号インターフェース  
ボードキット(オプション)搭載時]



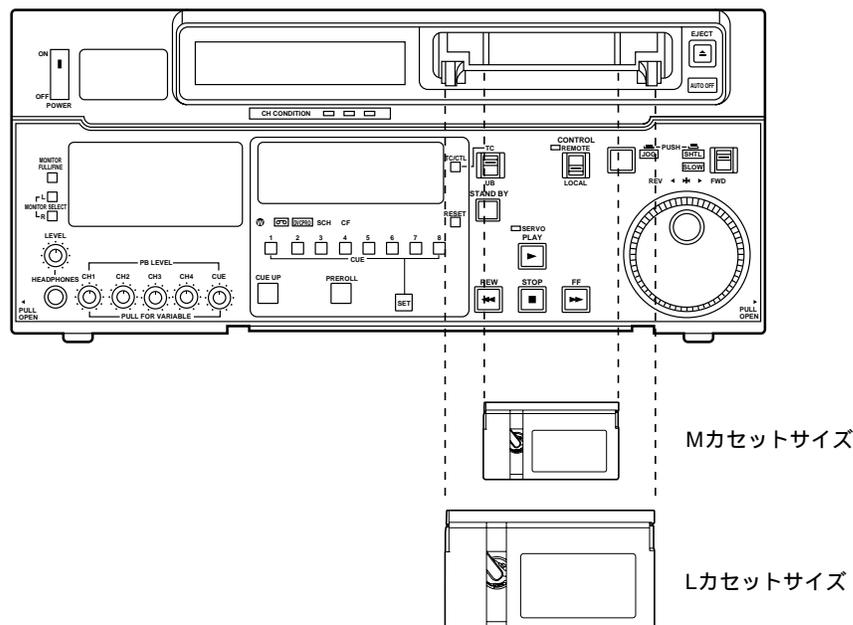
# ビデオ出力信号（エンコーダ出力）の調整のための接続



# テープ

タイプ		内容
民生用カセット (Sカセット)		民生用カメラレコーダ専用テープです。 カセットアダプタ(別売品)を使用すれば、再生できます。ただし、長時間用カセットテープ(標準モード80分/LPモード120分)は使用できませんのでご注意ください。 なお、テープはパナソニックの民生用DVテープのご使用をお勧めいたします。 「カセットアダプタを使用せずにカセットテープを挿入しますと、故障の原因となりますのでご注意ください。」
Mカセット		最大33分の再生テープ (AJ-5P23MP、AJ-5P33MP)
Lカセット	DVCPRO50 (50Mbps)	最大92分の再生テープ (AJ-5P63LP、AJ-5P92LP)
	民生用	民生標準カセットの再生テープです。 再生するためには、セットアップメニューNo.014(FORMAT SEL)でDVを選択してご使用ください。 なお、テープはパナソニックの民生用DVテープのご使用をお勧めいたします。

挿入口のセンターにカセットをあわせ、軽く押してください。  
カセットテープは自動的にローディングされます。



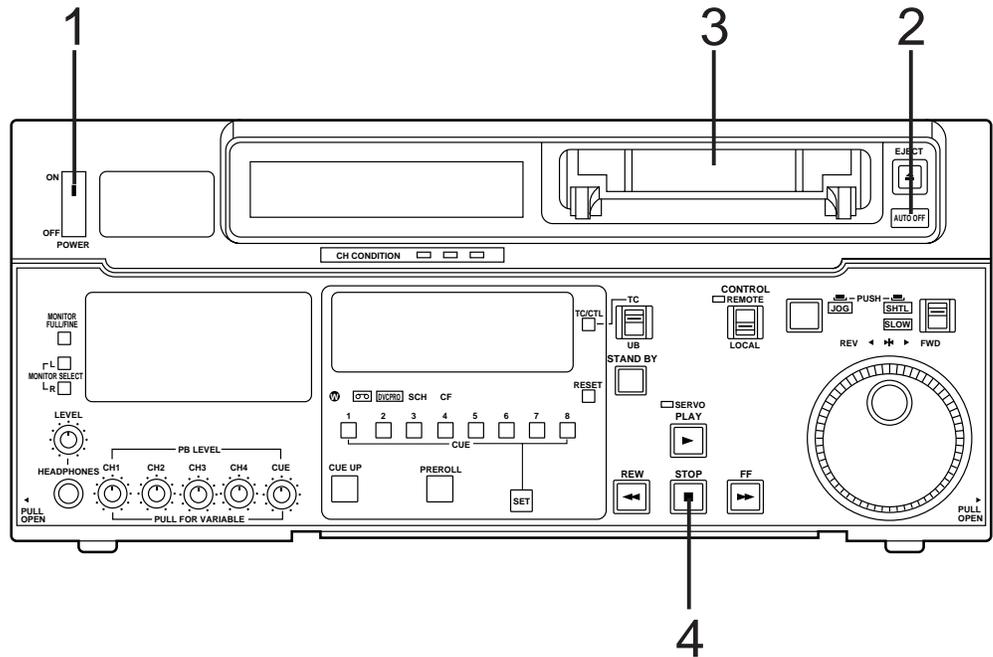
### < 民生DVテープの再生時のご注意 >

- 民生のLPモードで記録されたテープは再生できません。
- 民生テープに記録された素材を編集する時には、DVCPRO50(50Mbps)、DVCPRO(25Mbps)のテープか、他の放送用VTRに記録してご使用ください。
- 民生テープの最大送り速度は32倍速です。
- 民生テープでの最大スチル時間は10秒に設定しています。
- テープ保護の観点から、民生テープでの同じ箇所でのキューアップは、できるだけひかえて頂きますようお願いいたします。
- 民生テープご使用時のSTILL TIMERの最大時間は10秒に、またSTILL状態で放置した時の合計時間は1分に設定されています。

# 電源投入 / カセット挿入

操作を始める前に、機器の接続が正しいかを確認してください。

- 1 電源を入れます。
- 2 AUTO OFFランプが消灯していることを確認します。  
結露など異常があると、AUTO OFFランプが点灯し、全ての操作はできなくなります。
- 3 カセットテープを挿入します。  
カセットテープは無理なく、正規の位置に挿入してください。
- 4 STOPランプが点灯していることを確認します。  
テープを挿入すると、自動的にシリンダーが回転し、テープがローディングされ、STOPモードになります。  
EJECTランプは消灯します。

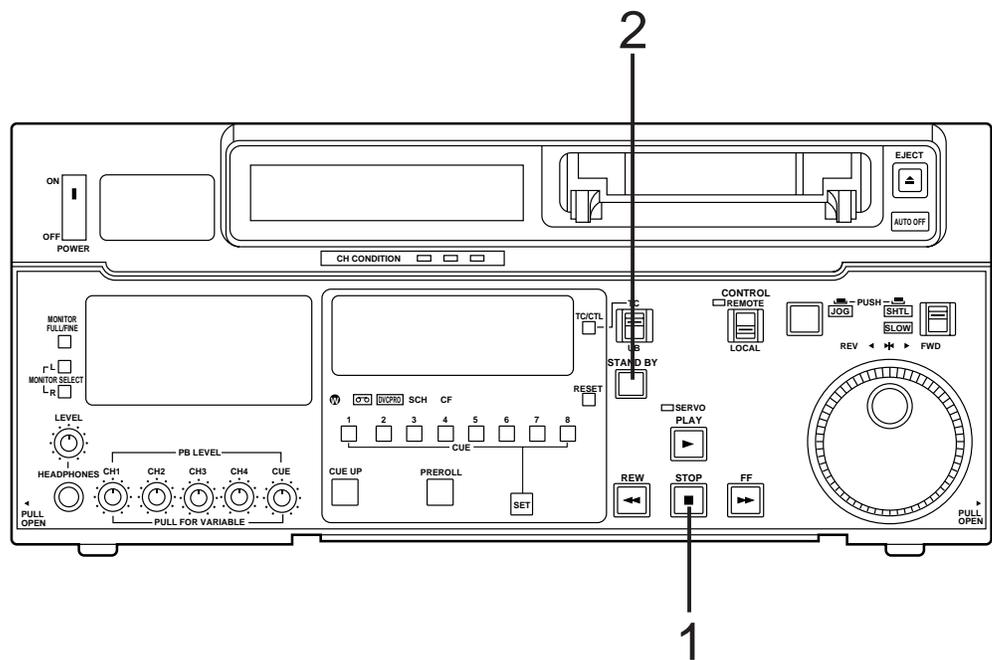


# STOP/STANDBY モード

- 1 STOPボタンを押すと、STOPモードになります。  
STOPランプが点灯し、テープ走行が停止します。
  - テープ保護のため、セットアップメニューNo.400( STILL TIMER)で設定した時間が経過すると、スタンバイOFFモードになります。  
STOP、REW、FF、PLAYの各ボタンを押すと、そのモードになります。
- 2 STAND BYボタンを押すと、スタンバイON/OFFモードになります。  
ランプの点灯中は、スタンバイONモードです。  
ストップモード中にこのボタンを押すとスタンバイOFFモードになり、ハーフローディング状態となりランプが消灯します。  
スタンバイOFFモード中にこのボタンを押すと、スタンバイONモードになります。

## STILL TIMER設定のご注意

- 番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時などには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。
- テープ保護のため、同一テープ箇所での待機時間はできる限り短く、例えばセットアップメニューNo.400( STILL TIMER )は最大30秒程度に設定してください。



# 再生

---

- 1 カセットテープを挿入し、STOPモードにします。
- 2 PLAYボタンを押します。  
通常の再生が開始されます。
- 3 オーディオ再生レベルを調整します。  
各音声レベル調整つまみを引き出して、左右に回して調整します。  
通常は押し込んだ状態にしておきます。(ユニティー値)
- 4 再生を終了するときは、STOPボタンを押します。  
VTRはSTOPモードになります。

< ノート >

- 再生中はSERVOランプが点灯していることを確認してください。消灯もしくは点滅していると、再生画像が乱れます。

# ジョグ / シャトル

---

## ジョグモード

- 1 サーチダイヤルを押して、ダイヤルを押し込みます。  
JOG ランプが点灯していることを確認します。
- 2 サーチダイヤルを回します。  
ダイヤルにクリック感がなくなり、ダイヤルの回転速度に応じたテープスピード( - 1 ~ + 1倍速 )で再生します。  
ダイヤルの回転を止めると、静止画になります。  
再生画はノイズレスになります。
- 3 ジョグモードから他のモードに移行する時は、移行するモードのボタンを押します。

## シャトルモード

- 1 サーチダイヤルを押して、押し込まれたダイヤルを元に戻します。  
SHTLランプが点灯し、シャトルモードになります。
  - 電源を入れた直後はサーチダイヤルを回して、センターの位置にしてください。
- 2 SHTL/SLOW スイッチを「SHTL」または「SLOW」に切換えます。
- 3 サーチダイヤルを回します。  
SHTL/SLOW スイッチが「SHTL」の時、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが 0 ~ ±32倍速まで変化します。(セッティングメニューNo.101(SHTL MAX)で±8.4、±16、±32倍速に切換可能です。)  
ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。  
SHTL/SLOW スイッチが「SLOW」の時、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが - 4.1 ~ + 4.1 倍速まで変化します。[セッティングメニュー No.320(VAR FWD MAX)、No.321(VAR REV MAX)の設定により最大速度を切換えることができます。ただし、DVCPR050(50Mbps)時は - 1 ~ + 1倍速以外、DVCPR0(25Mbps)時は - 2 ~ + 2倍速以外、DVは - 1 ~ + 1倍速以外はノイズが出ます。]ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。  
再生画はノイズレスになります。
- 4 シャトルモードから他のモードに移行する時は、STOPボタンまたは他のボタンを押します。

### < ノート >

- 工場出荷時には、サーチダイヤルを回すと、シャトルモードまたはジョグモードに移行するように設定されています。  
ダイレクトに可変速モードに移行することが不都合な場合は、サーチボタンを経由で移行することもできます。  
セッティングメニューNo.100(SEARCH ENA)を「KEY」にします。

# MULTI CUE 機能

## CUE 点の登録

### 自動登録

サーチダイヤルまたはPLAYモードで、頭出ししたいところでSETボタンを押します。

登録されたCUEボタンが点灯します。

次に頭出ししたいところでSETボタンを押すと、登録されていないCUEボタンに、CUE 1  
CUE 2... CUE 8の順に、若い番号から登録されていきます。

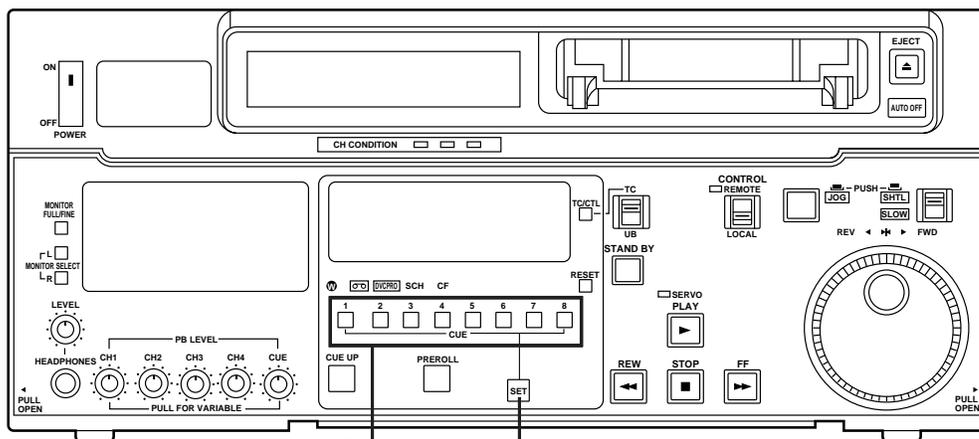
### < ノート >

- 8箇所すべてにCUE点が登録されると、SETボタンを押してもCUE点の登録は行いません。  
この場合、任意登録による上書き、あるいはCUE点の登録をリセットしてから登録し直してください。

### 任意登録

任意登録には次の2通りの方法があります。

- 登録されていないCUEボタンにCUE点を登録する場合は、頭出ししたいところで直接CUEボタン(CUE 1 ~ CUE 8)を押します。  
押されたCUEボタンが点灯し、CUE点が登録されます。
- すでに登録済みのCUEボタンにCUE点を登録する場合は、頭出ししたいところでCUEボタンを押しながらSETボタンを押します。  
この場合はCUEボタンに上書きで、CUE点を登録します。



CUEボタン  
(CUE 1 ~ CUE 8)      SETボタン

## CUE 点の確認

登録されている任意のCUEボタンを押して、CUE点を確認します。

登録されているCUE点の値がディスプレイに出るとともに、押されたCUEボタンが点滅します。

CUEボタンの点滅を解除するには、点滅しているCUEボタンを押すか、登録されている他のCUEボタンを押します。この場合は、押されたCUEボタン点滅が移動します。

### CUE 点への CUE UP

CUEボタンが点滅しているときに、CUE UPボタンを押します。

押すと、そのCUE点に対してテープがプリロールされて、静止画になります。

- プリロール時間は、セットアップメニューNo.016( CU-ROLL TIME )で設定できます。
- セットアップメニューNo.315( AFTER CUE-UP )の設定により、プリロール終了後の動作をSTOPモードまたはSTILLモードに切り換えることができます。

< ノート >

- CUE点を選択されていないときに押すと、押した点からテープがプリロールされて、静止画になります。

### CUE 点へのプリロール

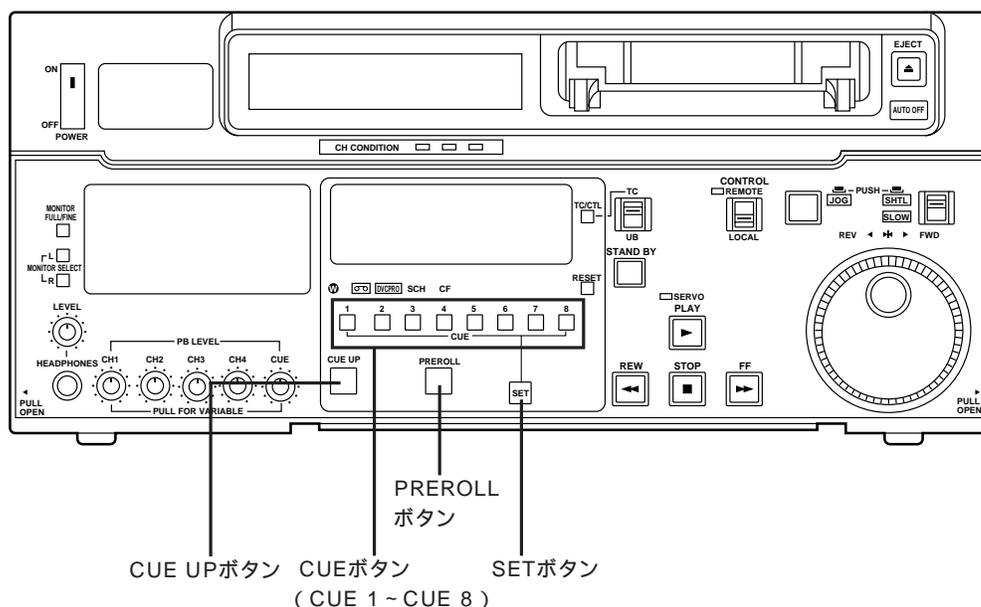
CUEボタンが点滅しているときにPREROLLボタンを押します。

押すと、そのCUE点に対してテープがプリロールされて、静止画になります。

- プリロール時間は、セットアップメニューNo.000( P-ROLL TIME )で設定できます。
- セットアップメニューNo.315( AFTER CUE-UP )の設定により、プリロール終了後の動作をSTOPモードまたはSTILLモードに切り換えることができます。

< ノート >

- CUE点を選択されていないときに押すと、押した点からテープがプリロールされて、静止画になります。



# MULTI CUE 機能

## CUE 点の削除

### 任意点削除

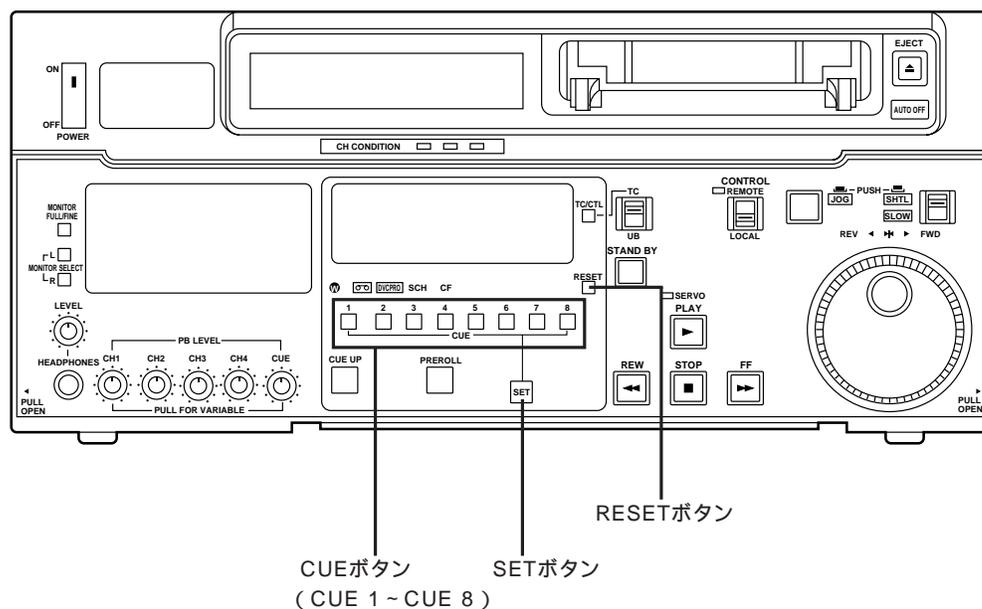
削除したい点のCUEボタンを押しながらRESETボタンを押します。  
登録されていたCUE点のリセットされ、同時にランプも消えます。

### 一括削除

SETボタンを押しながらRESETボタンを押します。  
登録されていたCUE点が全てリセットされ、同時にランプも消えます。

### < ノート >

- CTLモード時は以下ようになります。  
SETボタンを押しながらRESETボタンを押すと、登録されていたCUE点は全てリセットされますが、CTLはリセットされません。  
逆にRESETボタンを押しながらSETボタンを押すと、登録されていたCUE点を全てリセットするとともに、CTLもリセットされます。
- 登録されているCUE点は、EJECTしてもリセットされません。  
CTLモード時は、CTLのみリセットします。



# ビデオ出力信号（エンコーダー出力）の調整

編集機を使用したABロール編集(2台のソース機を使った編集)などを行う場合、誤差のない正確な編集を行うためには、システム接続後にビデオ出力信号(ENCODER OUT)を調整する必要があります。

(この調整は、接続ケーブルを交換した場合や接続を変えるごとに調整しなおす必要があります。)

本機で調整する場合は以下のようにします。

- 1 接続を確認します。(24ページ参照)
- 2 フロントパネル下部のREMOTE/LOCALスイッチ $\text{Ⓢ}$ を調整する位置(LOCAL)に切替えます。  
REMOTE : 外部のエンコーダーリモートコントローラでビデオ出力信号を調整します。  
LOCAL : 本機でビデオ出力信号を調整します。

- 3 ソース機単体で調整します。

- 3-1 プリセット値を使用する場合、  
VIDEO LEVEL、CHROMA LEVEL、SETUP、HUE、の各PRESET/MANUALスイッチを「PRESET」にします。

- 3-2 PRESET値を使わずに、ビデオ出力信号を調整する場合

- 1 標準カラーバーの記録されているカセットテープを再生します。
- 2 ウェーブフォームモニター(WFM)、ベクトルスコープ(VSC)が以下のようになるように各ボリュームを調整します。

**A** セットアップレベル

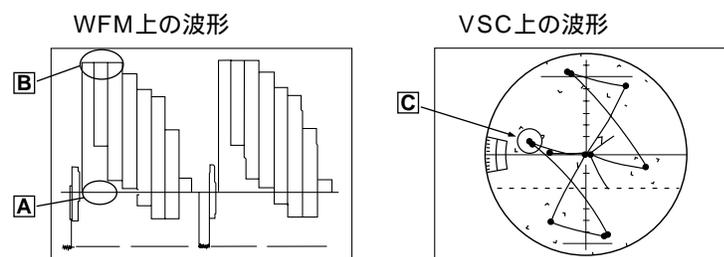
ズレをなくすように調整します。

**B** ビデオレベル

100IREに調整します。

**C** クロマレベル・ヒュー

二つのボリュームを調整して $\square$ マークに各ベクトル波形の光点を入れます。



- 4 接続しているソース機を同じように調整します。

# セットアップ (初期設定)

本機の主な設定はメニュー方式で選択しながら行います。

モニターテレビとコネクタ部のVIDEO OUT 3端子と接続している場合はテレビに設定メニューが出ます。

## 設定の変更

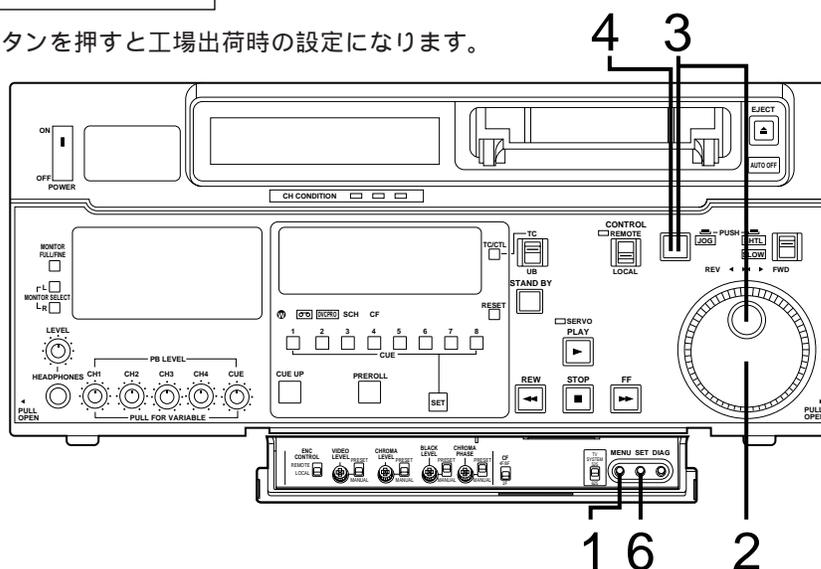
- 1** MENUボタンを押します。  
モニターテレビにセットアップメニューの画面が、カウンタ表示部にセットアップメニューの項目No.がそれぞれ表示されます。  
(以前にセットアップを行っている場合は、最後に変更を行った画面が表示されます。)
- 2** サーチダイヤルを回して、設定する項目を選びます。  
メニュー画面のカーソル( \* )が移動し、ディスプレイの項目No.が点滅します。
  - 右に回すと項目No.が001 002 003 004 のように増加し、左に回すと減少します。
  - PLAYボタンを押しながらFFまたはREWボタンを押すと、次または前の項目に切り替わります。
  - サーチダイヤルはできるだけJOGモードでご使用ください。
- 3** 変更する位置で、サーチボタンを押しながら、サーチダイヤルを回します。  
メニュー画面およびディスプレイの設定値が点滅します。  
ダイヤルを右に回すと設定No.が増加し、左に回すと減少します。
- 4** 設定が終了すると、サーチボタンを離します。  
項目No.が点滅します。
  - サーチダイヤルがSHTLモードのときは、静止にしないと項目が移動します。
- 5** 変更する項目がある場合、2～4 を繰り返します。
- 6** SETボタンを押します。  
変更した内容は記憶されます。  
設定した内容を変更前に戻す場合は、MENUボタンを押します。
  - セットアップの内容を工場出荷(初期設定)に戻すときは、メニューが表示されているときにRESETボタンを押します。以下のメッセージが出ます。

SETUP-MENU INIT SET  
YES<PLAY>/NO<STOP>

PLAYボタンを押すと工場出荷時の設定になります。

### < ノート >

- RESETボタンを押して工場出荷設定に戻す時は、現在使用されているユーザーファイルのみに限られます。他のユーザーファイルには影響を与えません。
- SYSTEMメニューの内容は、MENUボタンを押しても変更内容が記録されます。

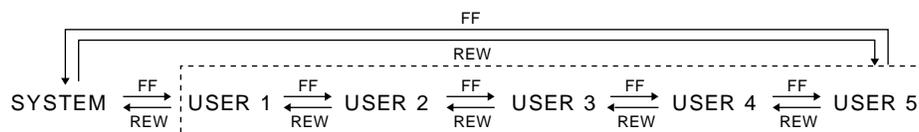


# セットアップ（設定）メニュー

本機は5つのユーザーファイルを持つことができ、それぞれ異なったメニュー設定の中からいずれか1つを選択して使用することができます。

## ファイルの変更

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらFFボタンを押すと、次のユーザーファイルに切り替わります。  
STAND BYボタンを押しながらREWボタンを押すと、前のユーザーファイルに戻ります。



### ユーザーファイル

各ユーザーファイルには下の項目があります。

- BASIC
- OPERATION
- INTERFACE
- EDIT
- TAPE PROTECT
- TIME CODE
- VIDEO
- AUDIO
- V BLANK
- MENU

- 3 ステップ2の操作で使用するユーザーファイルを決定すると、SETボタンを押します。  
ユーザーファイルを変更して記憶します。

### < ノート >

- SYSTEMメニューの項目は、ユーザーファイルの1～5の中には含まれないのでユーザーファイルの切り換えを行い、SYSTEMファイルに切り換えた後、SYSTEMメニューの項目を設定してください。

# セットアップメニュー

システムファイルおよびユーザーファイル( USER2 ~ USER5 )の設定内容を保護するために、ロックモードの設定ができます。ロックモードを設定すると、設定内容の変更ができなくなります。

ロックモードの設定および解除は、システムファイルはセットアップメニューNo.30( MENU LOCK)、ユーザーファイルはセットアップメニューNo.A03( MENU LOCK)で設定できます。

## ロックモードの設定および解除

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、ロックモードを設定または解除するファイルを選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル( \* )をシステムファイルはNo.30( MENU LOCK)へ、ユーザーファイルはNo.A03( MENU LOCK)へ移動します。
- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤルを回し、ロックモードの設定および解除を選択します。  
ロック設定：設定値を0001( ON )に設定します。  
ロック解除：設定値を0000( OFF )に設定します。

ロック設定されている場合、メニュー画面上に「 LOCKED 」を点滅表示します。また、カウンタ表示部が点滅表示から点灯表示になります。

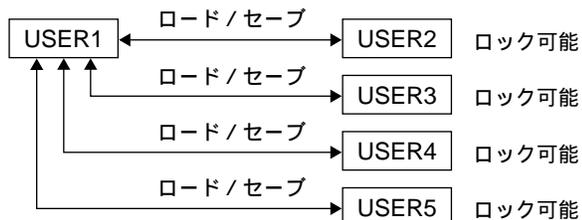
SETUP-MENU	LOCKED
<USER2>	NO.000 - 0005
*000 P-ROLL TIME	5s
001 LOCAL ENA	ST&EJ
002 TAPE TIMER	±12h
003 REMAIN SEL	OFF
004 SETUP NUMBER	OFF
007 SUPER	ON
008 DISPLAY SEL	T&STA
009 CHARA H-POS	5
010 CHARA V-POS	23

- 5 SETボタンを押します。設定内容が記憶されます。

< ノート >

- USER1はロックモードの設定はできません。
- ロックモードに設定されているファイルは、RESETボタンを押しても工場出荷値へのリセット操作はできません。

USER2 ~ USER5 の内容を USER1 へ複写 (ロード) することができます。また、USER1 の内容を USER2 ~ USER5 へ複写 (セーブ) することができます。



## ユーザーファイルのロード

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、USER1を選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル( \* )をNo.A00(LOAD)へ移動します。

```

SETUP-MENU  MENU
<USER1>    NO.A00 - 0000
 804 BLANK LINE   BLANK
*A00 LOAD      USER2
A01 SAVE       USER2
A02 P.ON LOAD   OFF
END
  
```

- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤルを回し、USER1へロードするユーザーファイルを選択します。
- 5 SETボタンを押します。メニュー画面上およびカウンタ表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```

SETUP-MENU LOAD

  USER2  USER1 OK?
  YES<PLAY>/NO<STOP>
  
```

カウンタ表示部

```

TCR  00:00:00:00
SETUP LOAD U-2  U-1
  
```

■の部分(2)は4.の操作で選択されたユーザーファイルNO.が表示されます。

- 6 PLAYボタンを押します。4.の操作で選択されたユーザーファイルの設定値がロードされてUSER1のメニュー表示となります。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- 7 サーチダイヤルを回し、メニュー画面中のカーソル( \* )をNo.A00(LOAD) \ No.A01 (SAVE)以外へ移動します。
- 8 SETボタンを押します。USER1の設定内容が記憶されます。USER1の設定内容を記憶しない場合は、SETボタンを押さずにMENUボタンを押します。

# セットアップメニュー

## ユーザーファイルのセーブ

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、USER1を選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル( \* )をNo.A01( SAVE )へ移動します。

```
SETUP-MENU  MENU
<USER1>     NO.A00 - 0000
804 BLANK LINE   BLANK
A00 LOAD        USER2
*A01 SAVE       USER2
A02 P.ON LOAD   OFF
END
```

- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤル回し、USER1の内容をセーブするユーザーファイルを選択します。このとき、ロックモードに設定されているユーザーファイルは表示されません。すべてのユーザーファイルがロックモードに設定されている場合は、“LOCKED”表示となりセーブ操作はできません。
- 5 SETボタンを押します。メニュー画面上およびカウンタ表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```
SETUP-MENU SAVE

USER1     USER2 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
```

カウンタ表示部

```
TCR 00:00:00:00
SETUP SAVE U-1 U-2
```

■の部分は4.の操作で選択されたユーザーファイルNO.が表示されます。

- 6 PLAYボタンを押します。USER1の内容が4.の操作で選択されたユーザーファイルへセーブされて記憶されます。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- 7 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル( \* )をNo.A00( LOAD )、No.A01( SAVE )以外へ移動します。
- 8 SETボタンを押します。USER1の設定内容が記憶されます。  
USER1の設定内容を記憶しない場合は、SETボタンを押さずにMENUボタンを押します。

## 電源投入時のユーザーファイルの自動呼出し

セットアップメニューNo.A02( P.ON LOAD )でロードするユーザーファイルを予め選択しておく、電源を投入したとき自動的にそのファイルをUSER1へロードすることができます。

# セットアップ (設定) メニュー

## SYSTEM メニュー

### < SYSTEM >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
00	WFM SEL			VIDEO OUT2出力端子から各信号を出力することができません。
		0000	CTL	0 : CTL信号を出力します。
		0001	TC	1 : TIME CODE信号を出力します。
		0002	VIDEO	2 : VIDEO OUT信号を出力します。
		0003	SYNC	3 : SYNC信号を出力します。
		0004	RF_L1	4 : PB L13ch RF信号を出力します。
		0005	RF_L2	5 : PB L24ch RF信号を出力します。
		0006	RF_R1	6 : PB R13ch RF信号を出力します。
		0007	RF_R2	7 : PB R24ch RF信号を出力します。
		0008	RF_DL	8 : DV L12ch RF信号を出力します。
		0009	RF_DR	9 : DV R12ch RF信号を出力します。
		0010	ENV_L1	10 : PB L13ch ENV信号を出力します。
		0011	ENV_L2	11 : PB L24ch ENV信号を出力します。
		0012	ENV_R1	12 : PB R13ch ENV信号を出力します。
		0013	ENV_R2	13 : PB R24ch ENV信号を出力します。
		0014	ENV_DL	14 : DV L12ch ENV信号を出力します。
0015	ENV_DR	15 : DV R12ch ENV信号を出力します。		
11	SYS SC	0000	- 127	システム位相調整：トータル可変範囲 ±180° 以上 - : 進み + : 遅れ <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
		}	}	
		0127	0	
		}	}	
		0255	128	
12	SYS H	0000	- 108	システム位相調整：74ns ステップ - : 進み + : 遅れ <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
		}	}	
		0108	0	
		}	}	
		0216	108	
13	VIDEO PHASE	0000	- 32	ビデオ位相調整：148ns ステップ - : 進み + : 遅れ
		}	}	
		0032	0	
		}	}	
		0064	32	
14	SCH COARSE	0000	0	SCH位相調整：90° 単位 - : 進み + : 遅れ (SC位相が変化し、H位相は変化しません。)
		0001	90	
		0002	180	
		0003	270	
15	SCH FINE	0000	- 32	SCH位相調整：トータル可変範囲 ±45° 以上 (SC位相が変化し、H位相は変化しません。)
		}	}	
		0032	0	
		}	}	
		0064	32	
16	AV PHASE	0000	- 100	映像出力に対しての、音声出力の位相を調整します。 ：20.8μsステップ - : 映像出力に対して、音声出力の位相が進みます。 + : 映像出力に対して、音声出力の位相が遅れます。
		}	}	
		0100	0	
		}	}	
		0200	100	

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップ (設定) メニュー

## SYSTEM メニュー

### < SYSTEM > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
17	SYS H RANGE	0000 0001	FULL FINE	ENCODER REMOTE接続時のSYSTEM Hの可変範囲を選択します。 0 : ±8 μsec 1 : -2 ~ +2.7 μsec <ノート> • 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。 • ENCODER REMOTEを使用せず、本機でSYSTEM Hを可変する場合は、本設定に関係なくFULL動作となります。
18	SYS H OFFSET	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006	- 3 - 2 - 1 0 1 2 3	システム位相調整 0 : -13.4 μsec 1 : -8.96 μsec 2 : -4.52 μsec 3 : 0 sec 4 : +4.52 μsec 5 : +8.96 μsec 6 : +13.4 μsec <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
19	SYS SC/H	0000 0001	REMOTE LOCAL	システム位相調整を本機で行うか、外部のエンコーダリモートコントローラから行うかを設定します。 0 : 外部のエンコーダリモートコントローラからシステム位相調整を行います。 1 : 本機でシステム位相調整を行います。 <ノート> フロントパネル下部のENCODER CONTROLスイッチをLOCALに設定している場合は、本設定は関係しません。
30	MENU LOCK	0000 0001	OFF ON	システムファイルのロックモードの設定/解除を選択します。 0 : ロック解除(変更可能) 1 : ロック設定(変更禁止) <ノート> セットアップメニューNo.00(WFM SEL)は、本メニューの設定に関係なく常に変更可能です。

\_\_\_は工場出荷モードです。

### ビデオ出力信号の各調整について

ビデオ出力信号の各調整については、フロントパネル下部のENCODER CONTROLスイッチと、SYSTEMメニューNo.19 (SYS SC/H) 設定により行います。各調整の制御マトリクスを下表に示します。

設定		調整項目		
ENCODER CONTROLスイッチ	SYSTEMメニュー 19 : SYS SC/H	SYSTEMメニュー 11 : SYS SC 12 : SYS H	SYSTEMメニュー 17 : SYS H RANGE	VIDEO LEVEL CHROMA LEVEL SET UP HUE
LOCAL	LOCAL REMOTE	本機	設定に関係なく 常にFULL	本機
REMOTE	LOCAL REMOTE	本機 外部エンコーダリモート		FULL/FINE

## USER メニュー

### < BASIC >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
000	P-ROLL TIME	0000 } 0005 } 0015	0S } 5S } 15S	PREROLLボタンによるプリロール時間を設定します。 0秒～15秒の間で1秒単位で設定できます。
001	LOCAL ENA	0000 0001 0002	DIS ST&EJ ENA	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、フロントパネルで操作可能なボタンを選択します。 0：全て不可 1：STOP、EJECTボタンのみ可能 2：全て可能
002	TAPE TIMER	0000 0001	±12h 24h	CTLカウンタ表示の12/24時間表示を選択します。 0：12時間表示 1：24時間表示
003	REMAIN SEL	0000 0001	OFF ON	フロントおよびVIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子のスーパー表示にREMAIN(テープ残量時間)を表示するかどうかを選択します。 0：表示しません。 1：表示します。 <ノート> <ul style="list-style-type: none"> <li>フロントおよびスーパーの2行目右端にREMAIN表示されます。</li> <li>1(ON)を選択した場合であっても、EJECTおよびカセットイン後でテープ残量の計算を行っている間は、表示されません。</li> <li>セットアップメニューNo.008(DISPLAY SEL)がTIMEに設定されている場合は、スーパーには表示されません。</li> <li>セットアップメニューNo.111(FRZ MODE SEL)でフリーズマーク(F)が表示されている場合は、表示されません。</li> <li>テープの始端および終端を検知し、BOTおよびEOTが表示されている場合は表示されません。</li> </ul>
004	SETUP NUMBER	0000 0001	OFF ON	フロントにSETUP-MENUのNo.表示を行うかどうかを選択します。 0：表示しません。 1：表示します。
007	SUPER	0000 0001	OFF ON	VIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子にタイムコード等のスーパー表示を行うかどうかを選択します。 0：表示しません。 1：表示します。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < BASIC > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
008	DISPLAY SEL	0000	TIME	VIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子のタイムコード等のスーパー表示内容を選択します。 0：時間のみ 1：時間および動作モード 2：時間、動作モードおよびモード 3：時間およびREC TIME 4：時間およびREC DATE(年月日) 5：時間およびREC DATE(月日年) 6：時間およびREC DATE(日月年) <ノート> 1. モード表示は、DVCPRO50(50Mbps)時は、DVCPRO_50表示 DVCPRO(25Mbps)時は、DVCPRO表示 DV時は、DV表示 2. 2(T&S&M)選択時にワーニングまたはエラーが発生した場合、エラーメッセージを表示します。 3. REC TIMEおよびREC DATEはDV再生時のみ表示します。DVCPRO50(50Mbps)、DVCPRO(25Mbps)時は動作モードを表示します。
		0001	T&STA	
		0002	T&S&M	
		0003	T&RT	
		0004	T&YMD	
		0005	T&MDY	
		0006	T&DMY	
009	CHARA H-POS	0000	0	VIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子のタイムコード等のスーパー表示の水平方向文字位置を設定します。 <ノート> 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態ではVIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3へ出力します。ただし、MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従います。 また、CHARATYPEはMENU中の設定状態でVIDEO OUT 3へ出力します。
		0004	4	
		0015	15	
010	CHARA V-POS	525モード		VIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子のタイムコード等のスーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。 <ノート> 1. 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態ではVIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3へ出力します。ただし、MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従います。 2. DISPLAY SELの状態により画面から文字がはみ出す場合、設定値は変化しますが、文字は自動的にはみ出ない位置に表示します。
		0000	0	
		0018	18	
		0022	22	
		625モード		
		0000	0	
		0023	23	
0028	28			

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

## USER メニュー

### < BASIC > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
011	CHARA TYPE	0000 0001	WHITE W/OUT	VIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子のスーパーおよび、 SETUP-MENU等の表示タイプを選択します。 0 : 白文字で、背景は黒 1 : 白文字で、黒のふちどり
012	SYS FORMAT	0000 0001	50M 25M	再生フォーマットを設定します。 0 : DVCPRO5Q( 50Mbps )を選択します。 1 : DVCPRQ( 25Mbps )を選択します。
013	PB FORMAT	0000 0001	MANUAL AUTO	テープ再生時のフォーマットを設定します。 0 : セットアップメニュー-No.012( SYS FORMAT )の設 定にしたがいます。 1 : セットアップメニュー-No.014( FORMAT SEL )の設 定がDVCPROモードの場合、テープに記録されてい るフォーマットにしたがいます。 < ノート > 525/625モードの自動設定は行えません。
014	FORMAT SEL	0000 0001	DVCPRO DV	Lカセット使用時のフォーマットを選択します。 0 : DVCPRQ( 50Mbps、25Mbps )モード 1 : DVモード < ノート > 選択したフォーマットと違うテープを挿入すると、再生以 外に以下の不具合がありますのでご注意ください。 1. REMAIN表示が正確にできません。 2. テープ始端、終端近傍でのスローダウン位置が正確に 出ません。 3. その他、フォーマットの異なるテープを挿入した場 合、性能などの保証はできません。
016	CU-ROLL TIME	0000 0015	0s 15s	CUE UPボタンによるプリロール時間を設定します。 0秒～15秒の間で1秒単位で設定できます。

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < OPERATION >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
100	SEARCH ENA	<u>0000</u> 0001	<u>DIAL</u> KEY	ダイレクトサーチダイヤル操作を選択します。 0 : ダイレクトサーチダイヤルの操作になります。 1 : サーチボタンを押さないとサーチモードに移行しません。
101	SHTL MAX	0000 <u>0001</u> 0002	X8.4 <u>X16</u> X32	シャトル動作の最大速度を設定します。 0 : X8.4(7.0)倍速 1 : X16倍速 2 : X32倍速 <ノート> ( )表示はDV時
102	FF. REW MAX	0000 <u>0001</u> 0002	X16 <u>X32</u> X50	FF、REW動作の最大速度を設定します。 0 : X16( 32 )倍速 1 : X32( 60 )倍速 2 : X50( 100 )倍速 <ノート> •( )表示はDVCPRQ( 25Mbps )モード時 •DVの場合は、本設定に関係なく、X32になります。
103	AUDIO MUTE	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	STOPまたはサーチからPLAYに移行したとき、音声信号が出力されるまでの状態を設定します。 0 : 音声出力されるまでの時間が短くなります。 1 : 完全な状態になってから音声出力します。 <ノート> 0(OFF)に設定した場合、出力される最初の部分は不完全な音になるため、放送用に使用することはおすすめできません。
104	REF ALARM	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	REF. VIDEOが接続されていないときに警告表示するかどうかを選択します。 0 : 表示しません。 1 : STOPランプを点滅させることで警告表示します。
107	PLAY DELAY	<u>0000</u> } } 0015	<u>0</u> } 15	PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。
108	CAP.LOCK	0000 <u>0001</u>	4F <u>8F</u>	CFスイッチが4F/8Fに設定されている時のCAPSTAN LOCKモードを選択します。 0 : 4Fモード 1 : 8Fモード <ノート> 525モード時は、このセットアップメニューは表示されません。
109	AUTO REW	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	テープ終端を検出した場合、自動的にテープ始端まで巻き戻すかどうかを選択します。 0 : テープ終端で停止します。 1 : テープ始端まで巻き戻します。

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

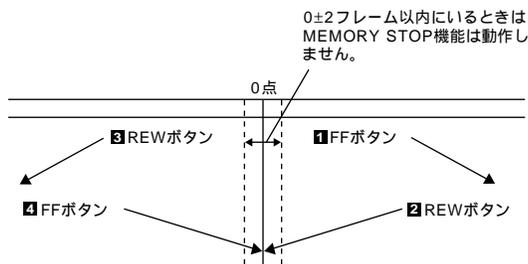
## USER メニュー

### < OPERATION > ( つづき )

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
110	MEMORY STOP	0000 0001	OFF ON	CTLモードのFFおよびREW動作において、カウンタ値が0の位置で自動的に停止するかどうかを選択します。 0 : VTRは停止しません。 1 : VTRは自動的に停止します。 < ノート > 1. 停止モードは、セットアップメニューNo.315( AFTER CUE-UP )の設定により停止または静止画( SHTL STILL )モードとなります。 2. AUTO REW機能とMEMORY機能が同時に選択されている場合、AUTO REW機能が優先となります。
111	FRZ MODE SEL	0000 0001 0002	DIS STBOFF SOF&EJ	スタンバイOFF( ハーフローディング )モードおよびEJECTモードでの出力画像を選択します。 0 : 映像出力をミュートします。 1 : スタンバイOFF( ハーフローディング )モード時のみ、その時点での再生画をフリーズして出力します。 2 : スタンバイOFF( ハーフローディング )モードおよびEJECTモード時、その時点での再生画をフリーズして出力します。 < ノート > フリーズ時の状態は、フィールドフリーズとなります。

\_\_\_は工場出荷モードです。

### MEMORY STOP機能説明



- 1 FFボタンを押した場合は動作する方向に0点がないため、通常のFF動作になります。
- 2 REWボタンを押した場合、PREROLLランプ( SHTLランプも点灯 )が点灯し、VTRはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。
- 3 REWボタンを押した場合は動作する方向に0点がないため、通常のREW動作になります。
- 4 FFボタンを押した場合、PREROLLランプ( SHTLランプも点灯 )が点灯し、VTRはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < INTERFACE >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
200	PARA RUN	0000 0001	DIS ENA	2 台以上のVTR を同期運転させるかを選択します。 0 : 同期運転させません。 1 : 同期運転させます。 < ノート > 同期運転させる場合は、全てのVTRの項目 200「1」に設定します。
201	9P SEL	0000 0001	OFF ON	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、9P端子が機能するかどうかを選択します。 0 : 機能しません。 1 : 機能します。
202	ID SEL	0000 0001	OTHER DVCPRO	コントローラに返すID情報を選択します。 0 : 20 25H : 525モード、21 25H : 625モード 1 : DVCPROの独自のID FO 33H : 525モード、F1 33H : 625モード
203	25P SEL	0000 0001	OFF ON	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、PARALLEL( 25P )端子が機能するかどうかを選択します。 0 : 機能しません。 1 : 機能します。
204	RS232C SEL	0000 0001	OFF ON	REMOTE/LOCAL SWが「REMOTE」の時、RS-232C端子が機能するかしないかを選択します。 0 : 機能しない 1 : 機能する
205	BAUD RATE	0000 0001 0002 0003 0004 0005	300 600 1200 2400 4800 9600	RS-232Cの通信速度( ボーレート )を設定します。
206	DATA LENGTH	0000 0001	7 8	RS-232Cのデータ長を設定します。 ( 単位 : BIT )
207	STOP BIT	0000 0001	1 2	RS-232Cのストップビット長を設定します。 ( 単位 : BIT )
208	PARITY	0000 0001 0002	NON ODD EVEN	RS-232Cのパリティビットの有無、奇数、偶数を設定します。 0 : パリティビットを使用しない 1 : パリティビットを奇数パリティで使用する 2 : パリティビットを偶数パリティで使用する
209	RETURN ACK	0000 0001	OFF ON	RS-232Cからのコマンド受信時、ACKコードを返信するかしないかを設定します。 0 : ACKコードを返信しない 1 : ACKコードを返信する
210	25P STBY CMD	0000 0001	OFF/ON ON	PARALLEL( 25P )端子におけるSTANDBY COMMANDの信号入力検出方法を選択します。 0 : アクティブ信号を検出する毎に、スタンバイON/OFFモードが交互に切り替わります。 1 : スタンバイOFFモードにおいて、アクティブ信号を検出した場合、スタンバイONモードへ移行します。スタンバイONモード中の動作には影響しません。

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

## USER メニュー

### < EDIT >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
315	AFTER CUE-UP	0000 0001	STOP STILL	キューアップ動作終了後の本機のモードを選択します。 0：STOPモードになります。 1：静止画(SHTL STILL)モードになります。
319	VAR STEP	0000 0001	FINE COARSE	リモート操作時の±1以上のVARの速度を選択します。 0：細かいステップの速度で再生します。 1：粗いステップの速度で再生します。 <ノート> 1(COARSE)の設定では、編集コントローラからの調相 ができません。
320	VAR FWD MAX	0000 0001 0002	+ 4.1 + 1.85 + 1	VAR FWDの最大速度を設定します。 0：DVCPR050(50Mbps)；+4.1倍速 DVCPRQ(25Mbps)；+4.1倍速 DV；+3.1倍速 1：DVCPR050(50Mbps)；+1.85倍速 DVCPRQ(25Mbps)；+2倍速 DV；+1.85倍速 2：+1倍速 <ノート> 0(+4.1)以外の設定では、編集コントローラからの調相 ができません。
321	VAR REV MAX	0000 0001 0002	- 4.1 - 1.85 - 1	VAR REVの最大速度を設定します。 0：DVCPR050(50Mbps)；-4.1倍速 DVCPRQ(25Mbps)；-4.1倍速 DV；-3.1倍速 1：DVCPR050(50Mbps)；-1.85倍速 DVCPRQ(25Mbps)；-2倍速 DV；-1.85倍速 2：-1倍速 <ノート> 0(-4.1)以外の設定では、編集コントローラからの調相 ができません。
322	JOG STEP	0000 0001	FINE COARSE	リモート操作時のJOGの速度を選択します。 0：細かいステップの速度で再生します。 1：粗いステップの速度で再生します。 <ノート> 1(COARSE)の設定では、JOGコマンドにより調相を行 う編集コントローラからの調相ができません。

\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < EDIT > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
323	JOG FWD MAX	0000	+ 4.1	JOG FWDの最大速度を設定します。 0 : DVCPR050( 50Mbps ) ; + 4.1倍速 DVCPRQ( 25Mbps ) ; + 4.1倍速 DV ; + 3.1倍速 1 : DVCPR050( 50Mbps ) ; + 1.85倍速 DVCPRQ( 25Mbps ) ; + 2倍速 DV ; + 1.85倍速 2 : + 1倍速 < ノート > ● フロントでのダイヤル操作時は、DVCPR050 ( 50Mbps )/DVは最大 + 1倍速再生となります。また DVCPRQ( 25Mbps )はメニュー設定により 0または1 : + 2倍速 2 : + 1倍速 再生となります。 ● ( + 4.1 )以外の設定では、JOGコマンドにより調相を 行う編集コントローラからの調相ができません。
		0001	+ 1.85	
		0002	+ 1	
324	JOG REV MAX	0000	- 4.1	JOG REVの最大速度を設定します。 0 : DVCPR050( 50Mbps ) ; - 4.1倍速 DVCPRQ( 25Mbps ) ; - 4.1倍速 DV ; - 3.1倍速 1 : DVCPR050( 50Mbps ) ; - 1.85倍速 DVCPRQ( 25Mbps ) ; - 2倍速 DV ; - 1.85倍速 2 : - 1倍速 < ノート > ● フロントでのダイヤル操作時は、DVCPR050 ( 50Mbps )/DVは最大 - 1倍速再生となります。また DVCPRQ( 25Mbps )はメニュー設定により 0または1 : - 2倍速 2 : - 1倍速 再生となります。 ● ( - 4.1 )以外の設定では、JOGコマンドにより調相を 行う編集コントローラからの調相ができません。
		0001	- 1.85	
		0002	- 1	

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

## USER メニュー

### < TAPE PROTECT >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
400	STILL TIMER	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008	0.5s 5s 10s 20s 30s 40s 50s 1min 2min	STOP、サーチSTILL(JOG/VAR/SHTL)の状態では、テープ保護モードになるまでの時間を選択します。 (単位 s : 秒、min : 分) < ノート > 民生DVテープを使用する時、10s以上を選択しても10sで処理されます。 ただし、選択画面は2minまで動作します。
401	SRC PROTECT	0000 0001	STEP HALF	サーチSTILL(JOG/VAR/SHTL)の状態、セットアップメニューNo.400(STILL TIMER)で設定した時間が経過すると、自動的に本機はテープ保護モードに入るが、ここでは、どのようなテープ保護モードにするかを選択します。 0 : STEP FWD 1 : HALF LOADING < ノート > STEP FWDが選択されているときに、STILLの状態では、合計時間が30分(DVテープの場合は1分)になると、自動的にスタンバイOFF(ハーフローディング)モードへ移行します。
402	DRUM STDBY	0000 0001	OFF ON	スタンバイOFF(ハーフローディング)モードの状態に移行した時、ヘッドドラムを回転させるかどうかを選択します。 0 : 停止します。 1 : 回転します。
403	STOP PROTECT	0000 0001	STEP HALF	STOPの状態、セットアップメニューNo.400(STILL TIMER)で設定した時間が経過すると、自動的に本機はテープ保護モードに入るが、ここでは、どのようなテープ保護モードにするかを選択します。 0 : STEP FWD 1 : HALF LOADING < ノート > STEP FWDが選択されている時に、STOP状態で放置された合計時間が30分(DVテープの場合は1分)になると、自動的にスタンバイOFF(ハーフローディング)モードへ移行します。

\_\_\_は工場出荷モードです。

#### STILL TIMER設定のご注意

- 番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時などには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < TIME CODE >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
500	VITC BLANK	0000 0001	BLANK THRU	501 : VITC POS-1、502 : VITC POS-2で選択された位置にVITCデータを出力するかどうかを選択します。 0 : 出力しません。 1 : 出力します。
501	VITC POS-1	525モード		VITC信号の挿入位置を設定します。 (502 : VITC POS-2と同じラインは選択できません。)
		0000	10L	
		}	}	
		0006	16L	
		}	}	
		0010	20L	
		625モード		
		0000	7L	
		}	}	
		0004	11L	
		}	}	
		0015	22L	
502	VITC POS-2	525モード		VITC信号の挿入位置を設定します。 (501 : VITC POS-1と同じラインは選択できません。)
		0000	10L	
		}	}	
		0008	18L	
		}	}	
		0010	20L	
		625モード		
		0000	7L	
		}	}	
		0006	13L	
		}	}	
		0015	22L	
507	PHASE CORR	0000 0001	OFF ON	再生時にLTC出力の位相補正コントロールを行うかどうかを選択します。 0 : 位相補正コントロールは行いません。 1 : 位相補正コントロールを行います。
509	DF MODE	0000 0001	DF NDF	CTLのDF/NDFを選択します。 0 : ドロップフレームモード 1 : ノンドロップフレームモード <ノート> • DF MODEはLOCALまたは項目004のLOCAL ENAが「ENA」の時有効です。 • 625モード時は、このセットアップメニューは表示しません。
511	VITC OUT	0000	SBC	出力ビデオ信号に重畳するVITCの出力方法を選択します。 SBC : SBC領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力します。 VAUX : VAUX領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力します。
		0001	VAUX	

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

#### SBC( Sub Code Data )領域

ヘリカルトラック上の映像および音声データ領域とは別に存在する領域であり、SMPTE/EBUに準拠したタイムコードが格納されます。従来のLTC( Linear Time Code )と同様に巻き戻し、早送り時にもタイムコードを読むことが可能であり、またテープ停止時でも読み出し可能です。

#### VAUX( Video Auxiliary Data )領域

ヘリカルトラック上の映像データ領域内に存在する領域であり、映像データに関連する付加情報が格納されます。

#### <ノート>

テープ再生時におけるタイムコード/ユーザービットの管理は、SBC領域に記録されているデータで行われます。即ち、ディスプレイやスーパーインポーズに表示されるデータ、編集コントローラなどへの通信データは全てSBC領域に記録されているデータで行われます。

# USER メニュー

## < VIDEO >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
602	V-MUTE SEL	0000 0001	N-MUTE LOW RF	再生中にテープのブランク(空白)部分が検出された場合、ビデオ出力信号をミュートするかどうかを選択します。 0 : ミュートしません。(フリーズします。) 1 : ミュートします。(灰色にします。)
603	CC (F1) BLANK	0000 0001	BLANK THRU	第1フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。 <ノート> 625モード時はこのセットアップメニューは表示されません。
604	CC (F2) BLANK	0000 0001	BLANK THRU	第2フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。 <ノート> 625モード時はこのセットアップメニューは表示されません。
605	FREEZE SEL	0000 0001	FIELD FRAME	静止画面のフリーズ状態を選択します。 0 : フィールドフリーズ 1 : フレームフリーズ <ノート> フレームフリーズを選択した場合はスロー時もフレームスローになります。
606	OUT C KILL	0000 0001	B/W COLOR	ビデオ出力信号のクロマのカラーキラー処理を選択します。 0 : 強制的にB/W処理を行います。 1 : 自動処理を行います。
609	EDH	0000 0001	OFF ON	シリアルアウトにEDHを重畳するかどうかを選択します。 0 : 重畳しません。 1 : 重畳します。
614	Pb/Pr OUT LV	0000 0001	MII B-CAM	アナログコンポーネント出力レベルを選択します。 0 : MIIレベル 1 : -CAMレベル <ノート> 625モード時はこのセットアップメニューは表示されません。
618	INTER- POLATE	0000 0001	OFF AUTO	スロー再生時は自動的に垂直インターポーレーションを行い、再生画像の上下動を軽減しますが、本設定によりインターポーレーション動作を強制的にOFFすることができます。 0 : 強制的にOFFします。 1 : スロー再生時、自動的にONします。
620	ESR MODE	0000 0001	OFF AUTO	再生回路におけるエッジサブキャリアリダクション(ESR)の動作モードを選択します。 0 : 強制的にOFFします。 1 : VTR動作に応じて自動的にON/OFFされます。
621	CCR MODE	0000 0001	OFF ON	再生時のクロスカラー処理を選択します。 0 : そのまま出力します。 1 : クロスカラーを軽減することができます。 <ノート> 625モード時はこのセットアップメニューは表示されません。

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < AUDIO >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
706	CH1 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力( CH1 )の基準レベル切換えを選択します。
707	CH2 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力( CH2 )の基準レベル切換えを選択します。
708	CH3 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力( CH3 )の基準レベル切換えを選択します。
709	CH4 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力( CH4 )の基準レベル切換えを選択します。
710	CUE OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	CUE出力の基準レベル切換えを選択します。
711	MONIL OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオモニター出力( Lch )の基準レベル切換えを選択します。
712	MONIR OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオモニター出力( Rch )の基準レベル切換えを選択します。
713	MONI OUT	0000 0001	UNITY VAR	オーディオモニター出力のUNITY/VARIABLE基準切換えを選択します。 0 : 既定値にて出力します。 1 : ヘッドホンVRに連動します。
721	MONI CH SEL	0000 0001 0002	MANU AUTO1 AUTO2	モニター出力の選択を行います。 0 : MONITOR SELECTで選択されたものを出力します。 1 : - 1 ~ + 1( - 2 ~ + 2 )の範囲はPCM AUDIO、それ以外は自動的にCUEを出力します。 2 : PLAYモードはPCM AUDIO、それ以外は自動的にCUEを出力します。 < ノート > • 前面のMONITOR SELECTスイッチのL/RがCH1、CH2、CH3、CH4を選択している場合、有効です。 ( CUEを選択している場合は、上記メニュー設定に関係なく全てのスピードにおいてCUEが出力されます。 ) • ( )内はDVCPRO( 25Mbps )時の速度です。
727	PB FADE	0000 0001 0002	AUTO CUT FADE	再生時に音声編集点( IN点、OUT点 )の処理をどのように行うかを選択します。 0 : 記録時の状態にしたがいます。 1 : 強制CUT 2 : 強制FADE
728	EMBEDDED AUD	0000 0001	OFF ON	シリアル出力にオーディオデータを重畳するかどうかを選択します。 0 : 重畳しません。 1 : 重畳します。

\_\_\_は工場出荷モードです。

## USER メニュー

### < AUDIO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
729	MONITOR MIX L	<u>0000</u> 0001 0002	<u>OFF</u> CH1+2 CH3+4	モニター出力にミックス信号を選択できます。 0 : ミックスしません。 1 : CH1/CH2をミックスしてLchに出力します。 2 : CH3/CH4をミックスしてLchに出力します。
730	MONITOR MIX R	<u>0000</u> 0001 0002	<u>OFF</u> CH1+2 CH3+4	モニター出力にミックス信号を選択できます。 0 : ミックスしません。 1 : CH1/CH2をミックスしてRchに出力します。 2 : CH3/CH4をミックスしてRchに出力します。
731	CUE OUT SEL	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	サーチモード時、本線系出力にCUEを出力するかを選択 します。 0 : CUEを出力しません。 1 : CUEを出力します。 (ただし、セットアップメニューNo.721(MONI CH SEL)でMANU以外を選択した場合にかぎりませす。)
732	CUE SLOW	<u>0000</u> 0001	<u>STEP</u> LINEAR	SLOW再生時のテープ走行状態(CUEトラック再生状態) を選択します。 0 : 出力画を優先し、STEP送りを行います。 1 : CUEトラック再生を優先し、LINEARに走行します。 <ノート> 1(LINEAR)に設定した場合、 ●STEPモードのようなきれいな画像にならない場合があ ります。 ●CTLカウンタは正常に動作しない場合があります。
734	MONI SEL INH	<u>0000</u> 0001 0002	<u>OFF</u> ON ON1	フロントパネルのMONITOR SELECTボタン操作の許可/ 禁止を選択します。 0 : 操作が可能になります。 1 : 操作が禁止されます。 2 : FULL表示モード時は操作が禁止され、FINE表示モ ード時のみ操作が可能になります。
750	DV PB ATT	<u>0000</u> <u>0001</u>	<u>OFF</u> <u>ON</u>	DV再生時のオーディオ出力レベルを選択します。 0 : オーディオ出力レベルをアッテネートしません。 1 : オーディオ出力レベルをアッテネート(低減)します。
751	REC PT MUTE	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	DV再生時、記録の継ぎ目でオーディオをミュートする かどうかを選択します。 0 : ミュートしません。 1 : ミュートします。

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

# セットアップメニュー

## USER メニュー

### < V BLANK >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
804	BLANK LINE			ビデオ出力信号の垂直ブランキング期間のブランキング ON/OFFを選択します。 0：全ライン強制ブランキングします。 1：全ラインブランキングしません。 2：各ラインごとにブランキングのON/OFFを選択します。 <ノート> 2( MANU )設定時、STOPボタンを押すとサブ画面に移り、各ラインに対してON/OFFを選択できます。サブ画面から戻るには、再度STOPボタンを押します。
		0000	BLANK	
		0001	THRU	
		0002	MANU	
サブ画面				
525モード				
00	LINE	0000	BLANK	0：強制ブランキングします。 1：ブランキングしません。
}	10 & 273	0001	THRU	
}	}			
11	21 & 284			
625モード				
00	LINE	0000	BLANK	0：強制ブランキングします。 1：ブランキングしません。
}	7 & 320	0001	THRU	
}	}			
15	22 & 335			

\_\_\_\_は工場出荷モードです。

## USER メニュー

### < MENU >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
A00	LOAD	0000 0001 0002 0003	USER2 USER3 USER4 USER5	<p>USER1へロードするユーザーファイルの選択します。</p> <p>0：USER2の内容をロードします。 1：USER3の内容をロードします。 2：USER4の内容をロードします。 3：USER5の内容をロードします。</p> <p>&lt;ノート&gt; ロード操作を行った後、SETボタンを押すと設定値が記憶されます。MENUボタンを押すと設定値は変更されません。</p>
A01	SAVE	0000 0001 0002 0003 0004	USER2 USER3 USER4 USER5 LOCKED	<p>USER1の設定をセーブするユーザーファイルの選択します。</p> <p>0：USER2へセーブします。 1：USER3へセーブします。 2：USER4へセーブします。 3：USER5へセーブします。 4：すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合の表示します。</p> <p>&lt;ノート&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>変更禁止に設定されているユーザーファイルは選択できません。</li> <li>すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合、「LOCKED」表示となりセーブ操作はできません。</li> </ul>
A02	P.ON LOAD	0000 0001 0002 0003 0004	OFF USER2 USER3 USER4 USER5	<p>電源投入時に、選択したユーザーファイルの内容をUSER1へロードし、USER1の設定で起動します。</p> <p>0：前回設定したユーザーファイルで起動します。 1：USER2の内容をUSER1へロードし起動します。 2：USER3の内容をUSER1へロードし起動します。 3：USER4の内容をUSER1へロードし起動します。 4：USER5の内容をUSER1へロードし起動します。</p>
A03	MENU LOCK	0000 0001	OFF ON	<p>ユーザーファイル( USER2 ~ USER5 )のロックモードの設定 / 解除を選択します。</p> <p>0：ロック解除( 変更可能 ) 1：ロック設定( 変更禁止 )</p> <p>&lt;ノート&gt; USER1のロック設定はできません。</p>

\_\_\_は工場出荷モードです。

#### < ノート >

- No.A00( LOAD )、No.A01( SAVE )、No.A02( P.ON LOAD )はUSER1のみ設定可能な項目です。USER2 ~ USER5では表示されません。
- No.A03( MENU LOCK )はUSER2 ~ USER5のみ設定可能な項目です。USER1では表示されません。

# タイムコード / ユーザービットについて

---

## タイムコード

タイムコードは、タイムコードリーダー(タイムコード信号読取器)でその値を読み取り、テープの絶対位置を時:分:秒:フレーム単位で表示するときに使用します。

タイムコードはヘリカルトラックのサブコード領域(データ領域)へ書き込まれています。VTRの再生速度が停止モード スロー再生 高速再生(約50倍速、ただしDVCPROテープ使用時は約100倍速)まで読み取ることができます。

タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24

時 分 秒 フレーム

## ユーザービット

ユーザービットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット(8桁)の情報枠のことです。

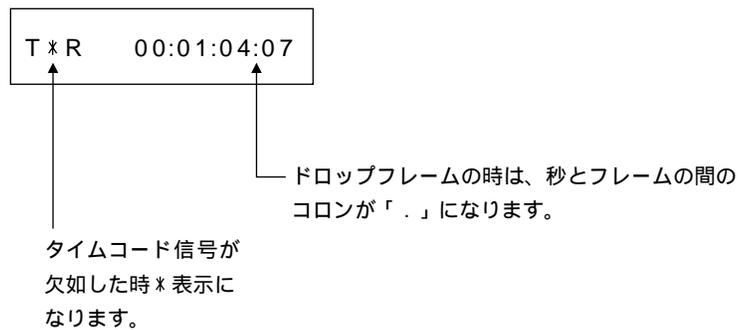
# タイムコード / ユーザービットの再生

---

- 1 STOPモードにします。
- 2 TC/CTLスイッチを「TC」にします。
- 3 TC/UB スイッチを「TC」または「UB」にします。  
TC : タイムコードが表示されます。  
UB : ユーザービットが表示されます。
  - タイムコードが読み取れなくなった場合は、CTLで補間します。
- 4 PLAYボタンを押します。  
再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。  
セットアップメニューNo.007( SUPER が「ON」の場合、VIDEO OUT 3 端子からの映像信号に、タイムコード値がスーパーインポーズされます。

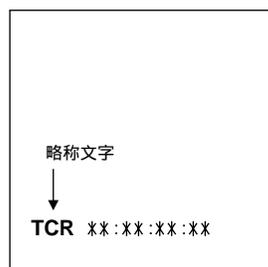
< ノート >

- ドロップフレームタイムコードを読んでいる時は、秒とフレームの間のコロンがピリオドに変わります。
- タイムコード信号が欠如したときにはCTL信号で自動的に補います。  
ディスプレイは以下ようになります。



# スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが略称文字で表示されます。

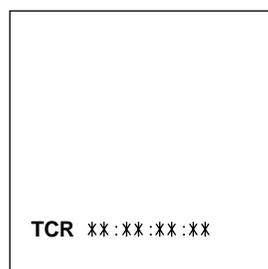


モニターテレビ

- CTL (コントロール信号)
- TCR (TCタイムコードの再生値)
- UBR (TCユーザービットの再生値)

## 表示文字

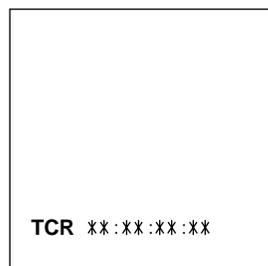
スーパーインポーズの表示文字は、セットアップメニューNo.011(CHARA TYPE)で文字の背影を変えることができます。



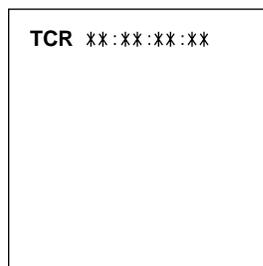
モニターテレビ

## 表示位置

スーパーインポーズの表示位置はセットアップメニューNo.009(CHARA H-POS)とセットアップメニューNo.010(CHARA V-POS)で変えることができます。



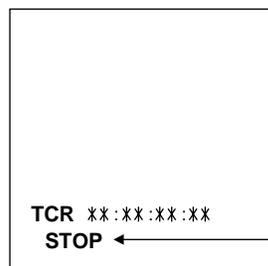
モニターテレビ



モニターテレビ

## 動作モード

セットアップメニューNo.008(DISPLAY SEL)でVTRの動作モードも表示されます。



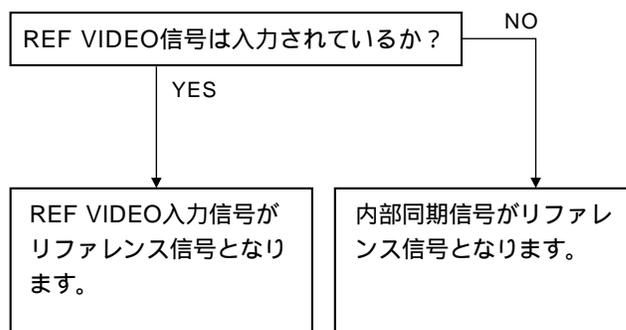
モニターテレビ

# サーボリファレンス

---

本機はサーボ用のリファレンス(基準)信号としてREF VIDEO入力端子より入力したリファレンスビデオ信号、またはINTのいずれかを自動的に選択します。

選択の時は下記のフローチャートのように、本機のモードとサーボリファレンスの設定が関係します。



# 音声 V フェード機能

---

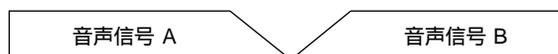
編集時、編集点の繋ぎ方の選択の情報はテープ上に記録されていますので、そのテープを本機に入れて再生する場合、その情報を感知しその部分を自動的にVフェード/カット処理します。  
(ただし、再生フェード選択( No.727 )がAUTOの場合)

## 編集点の繋ぎ方の選択がCUTの場合



↑  
編集の繋ぎ目でノイズがでます。

## 編集点の繋ぎ方の選択がFADEの場合



↑  
瞬間的にVフェードにして、ノイズを消します。

< ノート >

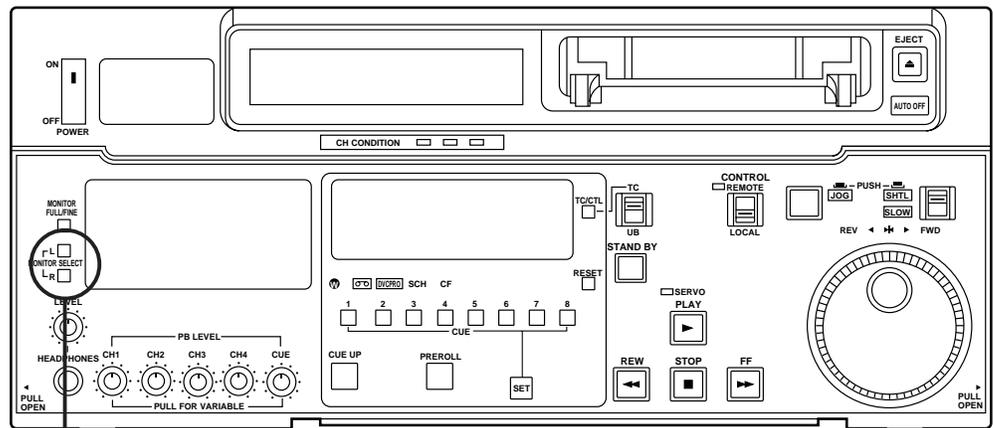
- 再生フェード選択( No.727 )がCUTの場合、全ての繋ぎ目がCUTになります。
- 再生フェード選択( No.727 )がFADEの場合、全ての繋ぎ目がVフェードします。

# 音声モニター出力の選択

## モニター出力チャンネル

MONITOR SELECTスイッチにより以下のように選択できます。

モニター出力	出力信号
L	CH1/CH2/CH3/CH4/CH1 + CH2/CH3 + CH4/CUE
R	CH1/CH2/CH3/CH4/CH1 + CH2/CH3 + CH4/CUE

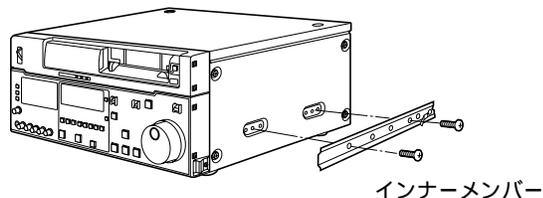


MONITOR  
SELECT スイッチ

# ラックマウント

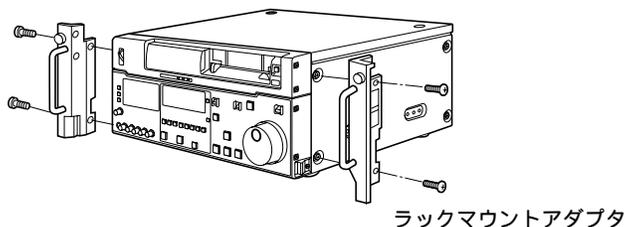
本機はラックマウントアダプタAJ-MA75P(別売品)をご使用になりますと19インチ標準ラックマウントに組み込むことができます。取り付けレールは、(株)ウインステッド・ジャパン社製MODEL. 8211のレールとブラケットを使用することをお薦めします。詳しくは購入店にご相談ください。

- 1 本機の左右のネジを外します。
- 2 外したネジで、スライドレールのインナーメンバーを取り付けます。

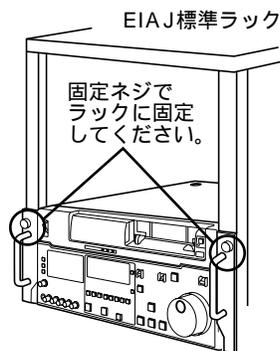


使用するネジは、長さ制限があります。取り付けネジを紛失した場合は、長さ10ミリ以下のものをご使用ください。  
インナーメンバーは、必ず4個ネジ止めしてください。

- 3 アウターメンバーのブラケットをラックに取り付けます。  
左右の高さが同じであることを確認してください。
- 4 付属のビス4個でラックマウントアダプタAJ-MA75Pを取り付けます。



- 5 本機底面のゴム足(4ヶ所)を外し、本機をラックに取り付けます。  
本機取り付け後、レールの上でスムーズに移動できることを確認します。



< ノート >

- ラック内の温度は5 ~ 40 に保ってください。
- VTR を引き出したとき倒れないようにラックはしっかりと床にボルトで固定してください。

# ビデオヘッドクリーニング

---

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能がついていますが、より信頼性を高めるために毎日ビデオヘッドを清掃することをお薦めいたします。クリーニング液は当社指定のものをご使用ください。

## 結露

---

露つきが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴(露)がつくのと同じ原理です。本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気がたちこもる湿度の多いところや暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このような所へ移動したときは、すぐ電源を入れずに10分程度放置したままお待ちください。

もし、本機に結露が発生したときは、AUTO OFFランプが点灯し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま、電源を入れた状態で、AUTO OFFランプが消えるまでお待ちください。

## お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は柔らかい布で行ってください。汚れのひどいときは、台所用洗剤をうすめ、布に浸して固く絞って拭きます。汚れを拭き取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。

# エラーメッセージ

本機にワーニングが発生すると、ワーニングランプが点灯します。

ダイアグメニューを開くとカウンタ表示部、モニターテレビにその内容を表示します。また、本機の動作に異常が発生すると、AUTO OFFランプが点灯し、カウンタ表示部にメッセージを表示します。

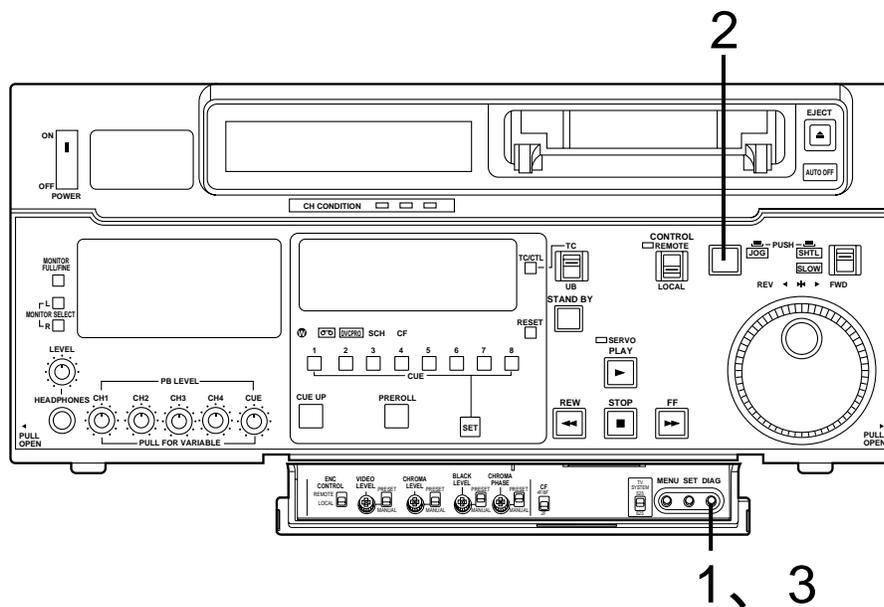
## ダイアグメニュー

VTRの情報を表示します。

VTRの情報にはワーニング情報、デッキのシリアルNo.、アワーメータ(使用時間)情報があります。モニターテレビとコネクタ部のVIDEO OUT3端子と接続している場合は、モニターテレビにダイアグメニューが出ます。

### ダイアグメニューの表示

- 1 DIAGボタンを押します。  
モニターテレビにダイアグメニューの画面が、カウンタ表示部にメッセージがそれぞれ表示されます。
- 2 サーチボタンを押すたびに、ワーニング情報、デッキのシリアルNo.、アワーメータ情報の表示が切替わります。
- 3 再度DIAGボタンを押すと元の表示に戻ります。



### ワーニング情報の表示

- ワーニング発生(ワーニングランプ点灯)時は、ワーニングメッセージを表示します。ワーニングが発生していない場合は、「NO WARNING」を表示します。
- 複数のワーニングが発生している場合は、サーチダイヤルを回すと各内容を確認することができます。

## アワーメータ情報の表示

サーチダイヤルを回すと、カーソル( \* )が移動し、カーソルのある項目の内容をカウンタ表示部に表示します。

項目No.	項目	内容
Ser	*****	デッキのシリアルNo.を表示します。
H00	OPERATION	電源が投入されている時間を1時間単位で表示します。
H01	DRUM RUN	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。
H02	TAPE RUN	FF、REW、PLAY、SEARCH(JOG、VAR、SHTL)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。
H03	THREADING	スレッティング/アンスレッティングの回数を1回単位で表示します。
H11	DRUM RUN r	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。(リセット可能)
H12	TAPE RUN r	FF、REW、PLAY、SEARCH(JOG、VAR、SHTL)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。(リセット可能)
H13	THREADING r	スレッティング/アンスレッティングの回数を1回単位で表示します。(リセット可能)
H30	POWER ON	電源が投入された回数を1回単位で表示します。

< ノート >

- アワーメータ情報のリセット可能な項目は、メンテナンスを行った場合等に販売店によりリセットします。
- ダイアグメニュー表示中は、サーチボタンおよびサーチダイヤルによる操作はできなくなります。

セットアップメニューNo.008( DISPLAY SEL)でT&S&Mが選択されている場合、ワーニングまたはエラー発生時、モード表示部にメッセージを表示します。複数発生時は優先順位の高いものが表示されます。

優先順位	表示	内容
高い ↑ ↓ 低い	エラーメッセージ (エラーメッセージ表参照)	本機の動作に異常が発生するとAUTO OFFランプが点灯し、エラーメッセージを表示します。
	ILLEGAL REF	REF、VIDEO入力に放送規格(525:RS-170A、625:CCIR624)に準拠したブラックバーストなどのコンポジットビデオ信号以外の不正規な信号を入力した場合、信号によっては左記メッセージが表示される場合があります。この場合、VTRの正常な動作の保証ができない場合がありますので、一度カセットをEJECTし、電源をOFFにしてください。 再度、電源をONにする前にREF、VIDEO信号の確認をお願いします。 < ノート > 本メッセージが出ててもテープを傷つけることはありません。
	ワーニングメッセージ (エラーメッセージ表参照)	本機にワーニングが発生すると、ワーニングランプが点灯し、ワーニングメッセージを表示します。複数のワーニングが発生している場合は、優先順位の高いものを表示します。

## ワーニングメッセージ

優先順位	カウンタ表示部およびモニターテレビの表示	内容	VTRの動作
高い ↑ ↓ 低い	FAN STOP	ファンモータが停止した場合に表示します。	動作継続
	NO RF	再生時、テープのブランク部分を1秒以上検出した場合に表示します。 下記の条件を全て満たした時、ブランク部分として認識します。 • 全てのヘッド出力がない。 • 再生データが読み取れない。 • CTLがない。(ただし、民生DVテープを除く)	動作継続
	SERVO NOT LOCKED	再生時、サーボが3秒以上外れた場合に表示します。	動作継続
	LOW RF	再生時にエンベレベルが、通常の約1/3の状態を1秒以上検出した場合に表示します。	動作継続
	HIGH ERROR RATE	エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった場合に表示します。	動作継続

# エラーメッセージ (AUTO OFF ランプ点灯)

カウンタ表示部の表示	モニターテレビの表示	内 容	VTR( 処置 )の動作
CAP ROTATE TOO SLOW	CAP ROTA TOO SLOW	キャプスタンモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
CAP TENSION ERROR	CAP TENSION ERROR	キャプスタンモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
DEW	DEW	結露を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅しEJECTモードへ移行します。EJECT後、結露を除去するためにドラムが回転します。 結露が解除されると、「AUTO OFF」ランプ、メッセージ表示が消えVTRは使用可能となります。 ●EJECTモードで結露を検出すると、その時点でドラムが回転します。 ●カセットが挿入されているときに結露を検出すると、ドラムの回転を止め、EJECT後にドラムが回転します。	EJECT
DRUM ROTATE TOO FAST	DRUM ROTA TOO FAST	シリンダモータの回転数が異常に高い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
DRUM ROTATE TOO SLOW	DRUM ROTA TOO SLOW	シリンダモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
E-FF	E-FF	ローディング途中または、ローディング完了後に、テープ始端及びテープ終端を同時に検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
FRONT LOAD ERROR	FRONT LOAD ERROR	ローディング途中 ( ハーフポジション ) の終始端処理動作で、巻き取り側リールが一定時間空回りした場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
FRONT LOAD MOTOR	FRONT LOAD MOTOR	EJECTモードに移行し6秒経過してもカセットアップしない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 < ノート > カセット挿入後、6秒経過してもカセットダウンにならない場合、EJECTモードへ移行します。	停止 ( POWER OFF ON )
LOADING MOTOR	LOADING MOTOR	アンローディング動作が6秒以内に完了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 < ノート > ローディング動作が6秒以内に完了しない場合、EJECTモード ( アンローディングモード ) へ移行します。	停止 ( POWER OFF ON )
REEL DIR UNMATCH	REEL DIR UNMATCH	巻き取り側のリールモータが逆転した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )

カウンタ表示部の表示	モニターテレビの表示	内 容	VTR( 処置 )の動作
REEL TENSION ERROR	REEL TENSION ERROR	リールモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
SERVO COMM ERROR	SERVO COMM ERROR	サーボマイコンが10秒経過しても、システムコントロールマイコンの指示に従わない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
SERVO CONTROL ERROR	SERVO CONTROL ERR	サーボマイコンからの応答が1秒以上ない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
SERVO ERROR	SERVO ERROR	瞬停等でサーボマイコンのみRESETがかかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
S-FF/REW TIMEOVER	S-FF/REW TIMEOVER	始末端処理動作が終了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
S REEL ROTA TOO FAST	S REEL TOO FAST	Sリールモータの回転が異常に速い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
S REEL TORQUE ERROR	S REEL TORQUE ERR	Sリールモータに異常トルクがかかっている事を検出した場合。若しくは、電流検出抵抗に異常電流が流れていることを検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
T REEL ROTA TOO FAST	T REEL TOO FAST	Tリールモータの回転が異常に速い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
T REEL TORQUE ERROR	T REEL TORQUE ERR	Tリールモータに異常トルクがかかっている事を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
UNLOAD ERROR	UNLOAD ERROR	アンローディング時テープを巻き取らなかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
WINDUP ERROR	WINDUP ERROR	テープ総量検出後、テープ走行中、巻き取り側リールのテープ巻き取り量と、送り出し側リールのテープ送り出し量が、異常に異なった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )
WINDUP REEL NOT ROTA	W-UP REEL NOT ROTA	カセット挿入後、テープ総量未検出状態でテープ走行中、テープ巻き取り側リールがテープ巻き取っていない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 ( POWER OFF ON )

# RS-232C インターフェース

## 1. 概要

(1) RS-232Cインターフェースを使用することにより、コマンドによるVTR操作が可能になります。  
(71～73ページのコマンド一覧をご参照ください。)

(2) RS-232Cインターフェースからのコマンド受け付け条件

フロントパネルのREMOTE/LOCAL SW : REMOTE  
セットアップメニュー項目No. 204「RS232C SEL」: ON

上記条件が成立していない場合は、外部に対して[ACK]+[STX] ER001 [ETX]の返答を行います。  
[ACK]の返信をするかしないかは、セットアップメニュー項目No.209「RETURN ACK」の設定にしたいがいます。

## 2. ハードウェア仕様

### 外部インターフェース仕様

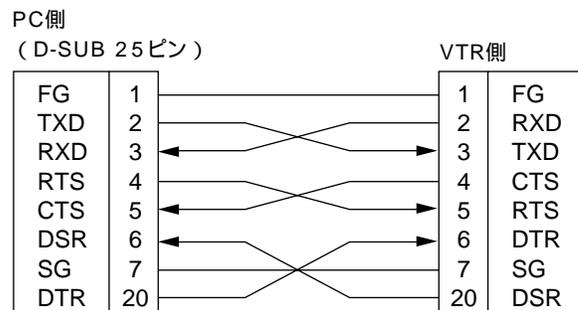
(1) 端子仕様

コネクタ : D-SUB 25ピン(クロスケーブル対応)

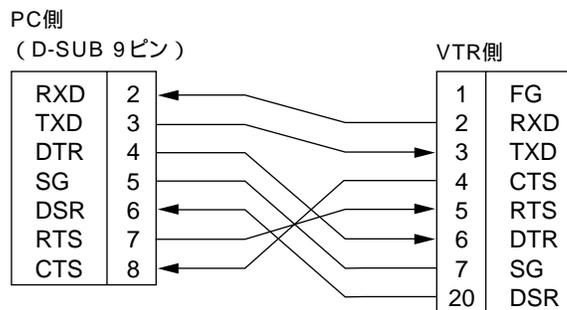
ピン配列	信号	回路名称	内容
1	FG	保安用接地	フレームグラウンド
2	RXD	受信データ	PCへデータを送信する
3	TXD	送信データ	PCからデータを受信する
4	CTS	送信可	5番ピンと短絡
5	RTS	送信要求	4番ピンと短絡
6	DTR	データ端末レディ	未処理
7	SG	信号用接地	信号用GND
20	DSR	データ・セット・レディ	通信可能状態後正電圧出力

(2) コントローラ(PC)との接続例

(D-SUB 25ピン クロスケーブルを使用)



(D-SUB 9ピン-25ピン クロスケーブルを使用)



### 3. ソフトウェア仕様

#### プロトコル

##### (1) 通信条件

通信方式	調歩同期式・全二重
通信速度	300/600/1200/2400/4800/9600
ビット長	7 bit/8 bit
ストップビット	1 bit/2 bit
パリティビット	NONE/ODD/EVEN
ACKコード	ACKコードを返信しない/ <u>ACKコードを返信する</u> <ノート> ACKコードとは、コントローラ側から正常なデータの送信があった場合、VTR側からコントローラに対して返信するコードのことです。

工場出荷時の設定は、\_\_\_\_\_ で示しています。

設定の変更は、下記のセットアップメニュー項目で変更できます。

通 信 条 件	セットアップメニュー項目
通信速度	No.205 BAUD RATE
ビット長	No.206 DATA LENGTH
ストップビット	No.207 STOP BIT
パリティビット	No.208 PARITY
ACKコード	No.209 RETURN ACK

##### (2) 送信フォーマット[ コントローラ( PC ) VTR ]

###### データフォーマット

[STX] [command] [:] [data] [ETX]

02h XX XX XX 3Ah XX-XX 03h (ASCIIコード:記号、数字、英大文字)  
20h<XX<7Fh

- [command] : コマンド識別子です。  
コマンドとして3バイトの識別子(ASCIIコード:記号、数字、英大文字)を送信します。
- [:] : コロンは、コマンドとデータとの区切りを意味するコードです。
- [data] : 必要なバイト数のデータ(ASCIIコード:記号、数字、英大文字)を付け加えることができます。

###### コントローラからの送信手順概略

1. 送信コマンドは、STX(START OF TEXT = 02h)で始まります。次に続くCOMMANDによりコマンドの識別を行い、必要に応じてデータを付け加えます。  
最後にETX(END OF TEXT = 03h)で終了します。
2. 新たに別のコマンドを送信する場合は、VTRからの応答を待ってから送信します。  
(70ページ参照)
3. ETXを送信する前に再度STXを送信すると、VTR側の内部受信データバッファはクリアされます。コマンドエラーをコントローラへ返信し、再度受信したSTXを先頭として、新たにデータ処理を行います。



## 5. コマンド一覧

### (1) 動作制御( Operation )関連コマンド

< ノート >

- 返信(完了)メッセージは、データ受信時に [ ACK ] を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ ACK ] を返信後に ER001(無効コマンド) を返信します。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
STOP	[STX] OSP [ETX]	[STX] OSP [ETX]	テープ走行を停止するコマンドです。
EJECT	[STX] OEJ [ETX]	[STX] OEJ [ETX]	カセットテープをイジェクトするコマンドです。 出力画の状態は、セットアップメニュー No.111 (FRZ MODE SEL) の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
PLAY	[STX] OPL [ETX]	[STX] OPL [ETX]	再生を開始するコマンドです。
REWIND	[STX] ORW [ETX]	[STX] ORW [ETX]	テープを巻き戻すコマンドです。 最高速度は、セットアップメニュー No.102 (FF. REW MAX) の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
FAST FORWARD	[STX] OFF [ETX]	[STX] OFF [ETX]	テープを早送りするコマンドです。 最高速度は、セットアップメニュー No.102 (FF. REW MAX) の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。

# RS-232C インターフェース

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
SHTL FORWARD	[STX] OSF:data [ETX]	[STX] OSF [ETX]	正方向シャトルのコマンドです。
	data = n: speed data 0: STILL (STILL) 1: ×0.03 (×0.03) 2: ×0.1 (×0.1) 3: ×0.5 (×0.5) 4: ×1 (×1) 5: ×1.85 (×1.85) 6: ×2.3 (×2.3) 7: ×4.1 (×3.1) 8: ×9.5* <sup>1</sup> (×9.5* <sup>1</sup> ) 9: ×16* <sup>1</sup> (×16* <sup>1</sup> )  A: ×32* <sup>1</sup> (×32* <sup>1</sup> ) * <sup>1</sup> [本速度は、セットアップメニューNo.101(SHTL MAX)の設定により異なります。] ( )内はDV時。		
SHTL REVERSE	[STX] OSR:data [ETX]	[STX] OSR [ETX]	逆方向シャトルのコマンドです。
	data = n: speed data 0: STILL (STILL) 1: ×0.03 (×0.03) 2: ×0.1 (×0.1) 3: ×0.5 (×0.5) 4: ×1 (×1) 5: ×1.85 (×1.85) 6: ×2.3 (×2.3) 7: ×4.1 (×3.1) 8: ×9.5* <sup>1</sup> (×9.5* <sup>1</sup> ) 9: ×16* <sup>1</sup> (×16* <sup>1</sup> )  A: ×32* <sup>1</sup> (×32* <sup>1</sup> ) * <sup>1</sup> [本速度は、セットアップメニューNo.101(SHTL MAX)の設定により異なります。] ( )内はDV時。		
STANDBY OFF	[STX] OBF [ETX]	[STX] OBF [ETX]	VTRをスタンバイOFFにするコマンドです。
STANDBY ON	[STX] OBN [ETX]	[STX] OBN [ETX]	VTRをスタンバイONにするコマンドです。

(2) 問い合わせ( Question )関連コマンド

< ノート >

- 返信(完了)メッセージは、データ受信時に [ACK] を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK] を返信後に ER001(無効コマンド) を返信します。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
CTL/TC DATA REQUEST	[STX] QCD [ETX]	[STX] CD data [ETX]	カウンター値を問い合わせるコマンドです。
		<pre> data = f w gh mm ss ff f   = F w   = S gh  =       CTL: g = SP (20h) : プラス時            - (2Dh) : マイナス時            h = 0 ~ 9 : 時       TC: gh = 00 ~ 23 : 時 mm  = 00 ~ 59 : 分 ss  = 00 ~ 59 : 秒 ff  = 00 ~ 29 : フレーム(525モード)      00 ~ 24 : フレーム(625モード) </pre>	フロント表示モードに合わせてCTLかTCを返信します。
STATUS REQUEST	[STX] QOP [ETX]	[STX] xxx [ETX]	VTRの動作モードを問い合わせるコマンドです。
		<pre> xxx = OEJ: EJECT       OFF: FAST FORWARD       OPL: PLAY       ORW: REWIND       OSP: STOP( STANDBY ON含む )       SRS: PREROLL       OBF: STANDBY OFF       OSF: SHTL FORWARD       OSR: SHTL REVERSE       OJG: JOG FORWARD/REVERSE       OSW: VAR FORWARD/REVERSE </pre>	
ID( 機器番号 ) REQUEST	[STX] QID [ETX]	[STX] data [ETX]	使用機器を問い合わせるコマンドです。
		data = AJ-D940	

# RS-232C インターフェース

---

## (3) Microsoft QuickBASIC サンプルプログラム

```
CLS
STX$ = CHR$(&H2): ETX$ = CHR$ (&H3): NAK$ = CHR$(15): ACK$ = CHR$(&H6)
PRINT "*** RS-232C COMMUNICATION SAMPLE PROGRAM ***"
PRINT "Type Command 'QUIT' to quit."
PRINT

REM *** Communication Port Initial & Open ***
REM Port 1,9600Bps,No parity,8 bit data,1 stop bit
OPEN "COM1:9600,N,8,1" FOR RANDOM AS #1 LEN = 256

REM *** Input Command & Send Command ***
SendCmd:
INPUT "Input Command ="; SEND$
IF SEND$ = "QUIT" THEN GOTO ProgEnd
PRINT #1, STX$ + SEND$ + ETX$

REM *** Wait for Receive Command ***
WHILE LOC(1) = 0
    WAITKEY$ = INKEY$
    IF WAITKEY$ = "Q" THEN PRINT "**** Quit ****": GOTO ProgEnd
WEND

REM *** Receive Command ***
RecvCmd:
RCV$ = INPUT$(1, #1)
IF RCV$ = STX$ THEN RCV$ = "[Stx]"
IF RCV$ = ACK$ THEN RCV$ = "[Ack]"
IF RCV$ = NAK$ THEN RCV$ = "[Nak]"
IF RCV$ = ETX$ THEN BUFFER$ = BUFFER$ + "[Etx]": GOTO DispOut
BUFFER$ = BUFFER$ + RCV$
GOTO RecvCmd

REM *** Output Receive Command ***
DispOut:
PRINT "Receive Command ="; BUFFER$
PRINT
BUFFER$ = ""
GOTO SendCmd

REM *** End Program ***
ProgEnd:
CLOSE
END
```

\*Microsoft QuickBASICはマイクロソフト社の商標です。

# コネクタの信号

## REF VIDEO IN

REF VIDEO IN	BNC × 2	ループスルー 75Ω 終端スイッチ付
--------------	---------	--------------------

## VIDEO OUT

SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 3
Y、P <sub>B</sub> 、P <sub>R</sub> (ANALOG)	BNC × 3
VIDEO OUT	BNC × 3

## AUDIO OUT

SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 3		
AUDIO OUT (DIGITAL)	XLR × 2	CH1/CH2、CH3/CH4 AES/EBU フォーマット	
AUDIO OUT (ANALOG)	XLR × 4	CH1、CH2、CH3、CH4	
CUE OUT	XLR × 1		
TIME CODE OUT	XLR × 1		
MONITOR OUT	XLR × 2	L/R	
HEADPHONES(フロント)	M6		

ピンNo.	内容
1	GND
2	HOT
3	COLD

## RS-422A REMOTE (9P)

### REMOTE IN

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND	4	RECEIVE COMMON	7	TRANSMIT B
2	TRANSMIT A	5		8	RECEIVE A
3	RECEIVE B	6	TRANSMIT COMMON	9	FRAME GROUND

### REMOTE OUT

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND	4	TRANSMIT COMMON	7	RECEIVE B
2	RECEIVE A	5		8	TRANSMIT A
3	TRANSMIT B	6	RECEIVE COMMON	9	FRAME GROUND

# コネクタの信号

## PARALLEL REMOTE (25P)

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	PLAY COMMAND	10		19	STNAD BY ON STATUS
2	STOP COMMAND	11		20	PREROLL STATUS
3	FF COMMAND	12	+10V以上、MAX 300mA	21	SERVO LOCK STATUS
4	REW COMMAND	13	PLAY STATUS	22	OPERATION ENABLE STATUS
5		14	STOP STATUS	23	
6	EJECT COMMAND	15	FF STATUS	24	
7	STAND BY COMMAND	16	REW STATUS	25	GND
8	PREROLL COMMAND	17			
9	IN SET COMMAND	18	EJECT STATUS		

< ノート >

- COMMANDはTTLレベル、アクティブLOW エッジは100msec以上の電気信号を入力してください。
- STATUSはオープンコレクタ、シンク電流はMax.6mAで出力されます。

## RS-232C REMOTE (D-SUB 25 ピン、クロスケーブル対応)

ピンNo.	略号	回路名称	内容
1	FRANE GROUND	保安用接地	フレームグランド
2	RxD	受信データ	PCへデータを送信する
3	TxD	送信データ	PCからデータを受信する
4	CTS	送信可	5番ピンと短絡
5	RTS	送信要求	4番ピンと短絡
6	DTR	データ端末レディ	未処理
7	GND	信号用接地	信号用GND
20	DSR	データセットレディ	通信可能状態後正電力出力

## ENCODER REMOTE (15P)

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1		6	SYSTEM H 0	11	RET GND
2	SET UP	7	SYS. SC COARSE (2)	12	
3	C LEVEL	8	- 12V	13	
4	GND	9	HUE	14	SYS. SC FINE
5	+12V	10	VIDEO LEVEL	15	SYS. SC COARSE (1)

# 定 格

## [総合]

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	225 W( オプションボード未挿入時210 W)

動作周囲温度	5 ~ 40
動作周囲湿度	10% ~ 90%( 結露なし)
重量	17 kg
外形寸法	424(幅)×175(高さ)×415(奥行き)mm( セット足、ジャック、JOGダイヤルを除く)
再生フォーマット	DVCPRO50/DVCPROフォーマット切換
再生ビデオ信号	525i/625i切換
再生オーディオ信号	DVCPRO50 : 48 kHz 16 bit 4CH DVCPRO : 48 kHz 16 bit 2CH
再生トラック	デジタル・ビデオ・オーディオ : ヘリカルトラック タイムコードはサブコード領域 キュートラック : 1トラック コントロールトラック : 1トラック
テープ速度	67.640 mm/秒( 525i ) 67.708 mm/秒( 625i )
再生時間	92分( AJ-5P92LP使用時 ) 33分( AJ-5P33MP使用時 )
使用テープ	メタルテープ
早送り/巻戻し時間	3分以内( AJ-5P92LP使用時 ) 2分以内( AJ-5P33MP使用時 )
サーチ速度	±3.2倍速( カラー )
デジタルスロー	プラス方向 : DVCPRO50 ; +1倍速 : DVCPRO ; +2倍速 マイナス方向 : DVCPRO50 ; -1倍速 : DVCPRO ; -2倍速
編集精度	±0フレーム( タイムコード使用時 )
テープタイマー精度	±1フレーム( 連続CTL信号使用時 )
サーボロック時間	0.5秒以内( カラーフレンジング/スタンバイON)

## [ビデオ]

サンプリング周波数	525i/625i : Y ; 13.5 MHz、P <sub>B</sub> /P <sub>R</sub> ; 6.75 MHz( DVCPRO50 )
量子化	8 bits
ビデオ圧縮方式	DCT + 適応量子化 + 可変長符号化
ビデオ圧縮比率	DVCPRO50 : 1/3.3 DVCPRO : 1/5
エラー訂正	リードソロモンプロダクトコード
ビデオ記録ビットレート	DVCPRO50 : 50 Mbps DVCPRO : 25 Mbps

### アナログコンポーネント出力ビデオ 映像帯域<sup>(注1)</sup>

525i : Y	; 30 Hz ~ 5.5 MHz( ±0.5 dB )	5.75 MHz( -2.0 dB ) ( DVCPRO50 )
P <sub>B</sub> /P <sub>R</sub>	; 30 Hz ~ 2.5 MHz( ±0.5 dB )	2.75 MHz( -2.0 dB )
625i : Y	; 25 Hz ~ 5.5 MHz( ±0.5 dB )	5.75 MHz( -2.0 dB ) ( DVCPRO50 )
P <sub>B</sub> /P <sub>R</sub>	; 25 Hz ~ 2.5 MHz( ±0.5 dB )	2.75 MHz( -2.0 dB )

(注1) デジタルIN記録のテープ再生時

S/N  
Kファクター( 2T )

60 dB以上  
1%以下

ビデオ入力端子  
リファレンス入力

アナログコンポジット、BNC×2、ループスルー、75Ω ON/OFF切換

ビデオ出力端子  
アナログコンポーネント出力

BNC×3( Y, P<sub>B</sub>, P<sub>R</sub> )  
Y : 1.0 V<sub>p-p</sub>、75Ω  
P<sub>B</sub>/P<sub>R</sub> : 0.525/0.757 V<sub>p-p</sub>切換、75Ω  
( 75%カラーバー、0%セットアップ )

アナログコンポジット出力  
シリアルデジタルコンポーネント出力

BNC×3、ビデオ 1、ビデオ 2、ビデオ 3( スーパーON/OFF )  
BNC×3、SMPTE259M-C規格に準拠  
SDI 1、SDI 2、SDI 3( スーパーON/OFF )

SDTI出力( オプション )

BNC×1、SMPTE305M規格に準拠( SDI 1出力端子共用 )

# 定 格

---

ビデオ調整範囲	
ビデオ出力ゲイン	± 3 dB
ビデオ出力クロマゲイン	± 3 dB
ビデオ出力クロマ位相	± 30°
ビデオ出力セットアップ	± 14 IRE
ビデオ出力シンク位相	± 15 μsec
ビデオ出力SC位相	± 180°

## [オーディオ]

デジタルオーディオ	
サンプリング周波数	48 kHz(ビデオに同期)
量子化	16 bits
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz ± 1.0 dB (基準レベルにて)
ダイナミックレンジ	90 dB以上(1 kHz、エンファシスOFF、“A” weighted)
歪率	0.05%以下(1 kHz、エンファシスOFF、基準レベル)
クロストーク	- 80 dB以下(1 kHz、2チャンネル間)
ワウフラッター	測定限界値以下
ヘッドルーム	525i : 20 dB 625i : 18 dB
ディエンファシス	T1=50 μsec、T2=15 μsec(ON/OFF自動切換)

キュートラック	
周波数特性	300 Hz ~ 6 kHz ± 3 dB

オーディオ出力端子	
アナログ出力 (CH1 × CH4)	XLR × 4、Lowインピーダンス、+ 4/0/ - 20 dBm(600Ω負荷時)メニューで切換可能
デジタル出力	XLR × 2、AES/EBUフォーマット
(CH1/CH2、CH3/CH4)	
シリアルデジタル出力	SMPTE259M-C/272M規格に準拠( BNC 75Ω )
キュートラック出力	XLR × 1、Lowインピーダンス、+ 4/0/ - 20 dBm(600Ω負荷時)メニューで切換可能
モニター出力	XLR × 2、Lowインピーダンス、+ 4/0/ - 20 dBm(600Ω負荷時)メニューで切換可能
ヘッドホン出力	M6、8Ω、レベル可変

## [その他入出力信号]

タイムコード出力	XLR × 1、2.0 Vp-p、Lowインピーダンス
RS-422A入力	D-sub 9pin、RS-422Aインターフェース
RS-422A出力	D-sub 9pin、RS-422Aインターフェース
RS-232C	D-sub 25pin、RS-232Cインターフェース
パラレル入出力	D-sub 25pin
エンコーダリモート	D-sub 15pin



---

松下電器産業株式会社 ビデオシステム事業部

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

VQT7951

S1298H100 ④